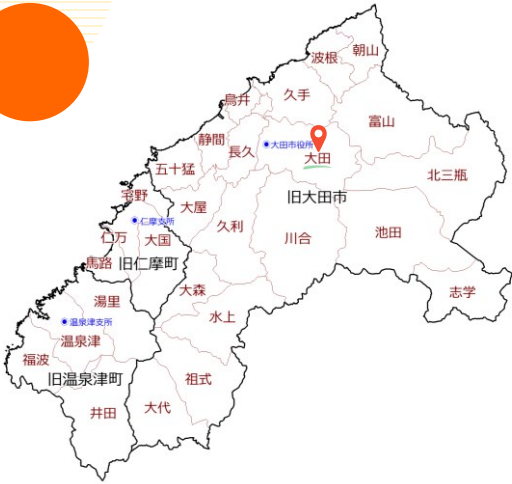


大田市27地区別人口

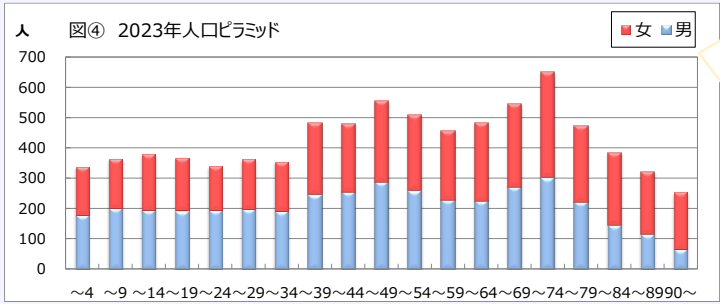
大田地区



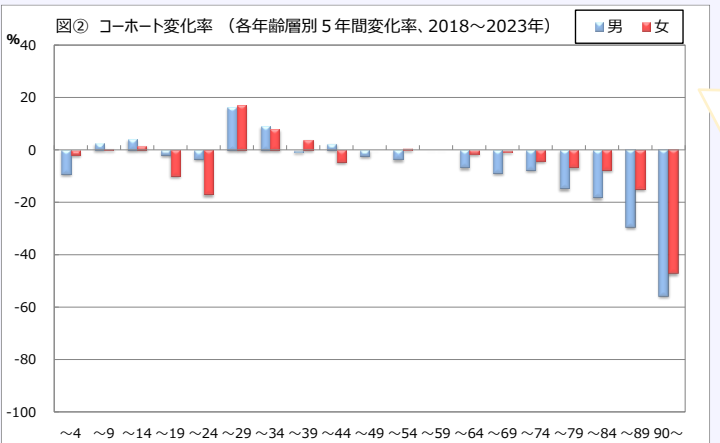
- ・人口：8,102人 (8,302人)
- ・世帯：3,802世帯 (3,724世帯)
- ・高齢化率：32.4% (31.3%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

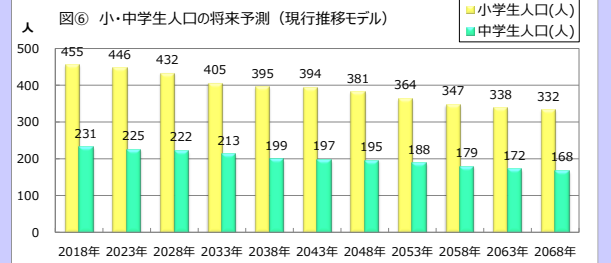
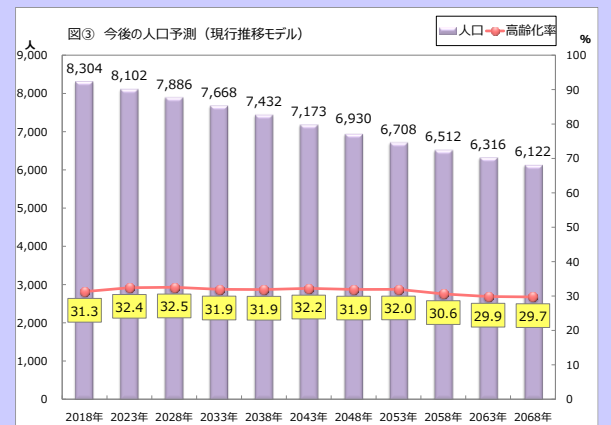


主力世代は、60代後半～70代前半、40代後半～50代前半で、年齢構成のバランスは良い。



10代後半～20代の流出超過が見られるものの、20代後半～30代前半で取り戻している。

今後何もしないでいると...



人口減少は減少するが高齢化は横ばい。
小・中学生数は緩やかに減少。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

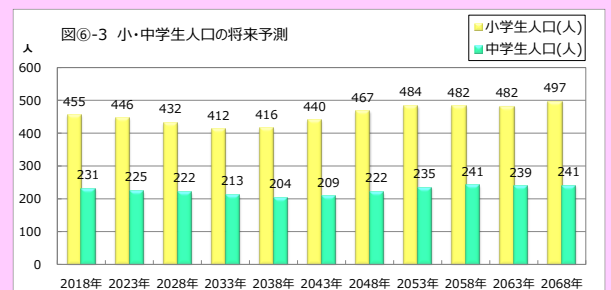
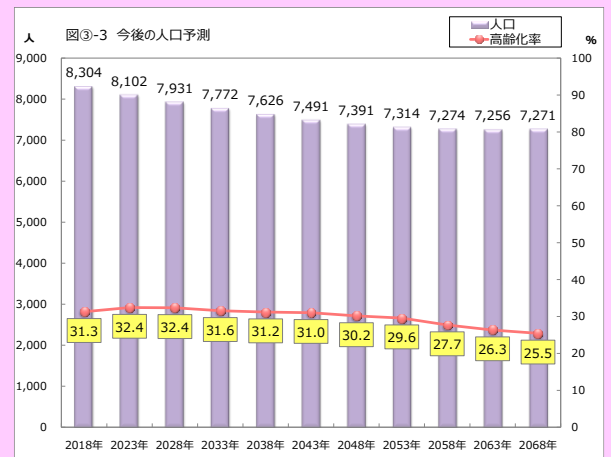
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.91)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男3%⇒2%、女17%⇒9%とする。
- 定住増加目標：
現在人口とほぼ同程度

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 0.5組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 0.5組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 0.5組
- 合計 2組 4人

左記の条件で推計すると...



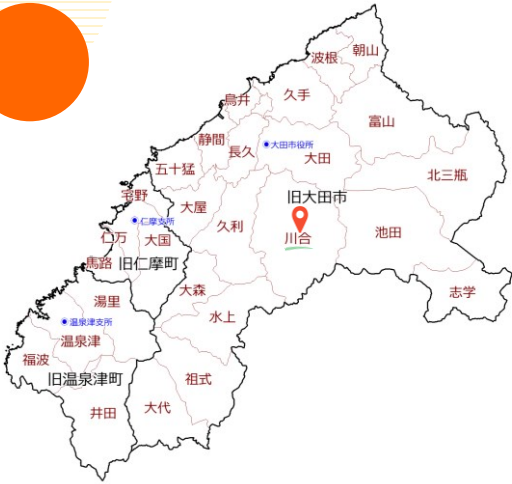
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

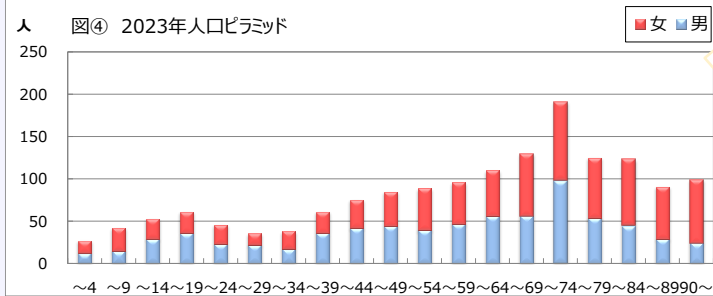
川合地区



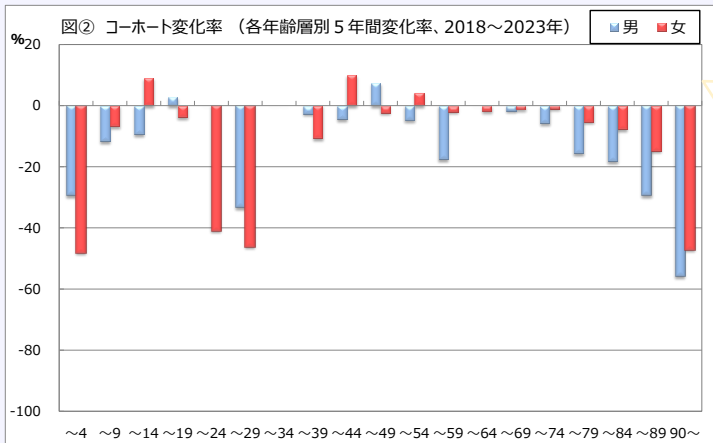
- 人口：1,578人 (1,795人)
- 世帯：828世帯 (886世帯)
- 高齢化率：48.1% (45.3%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

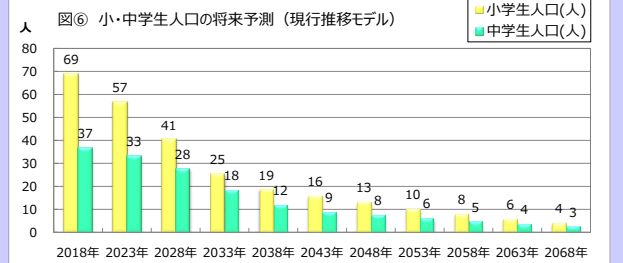
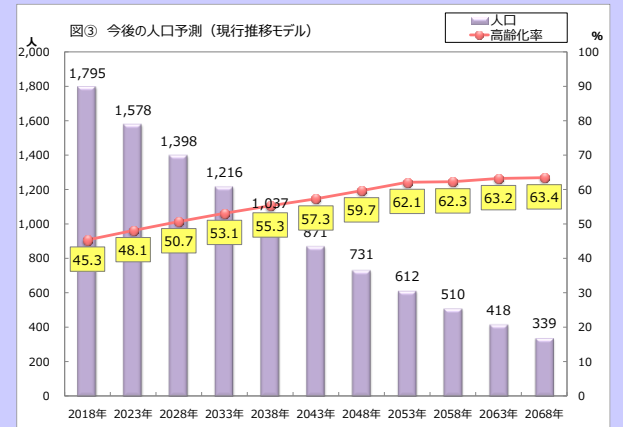


主力世代は、70代前半。
この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代の大幅な流出超過をその後十分に取り戻せていない。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、10年で半減以下まで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

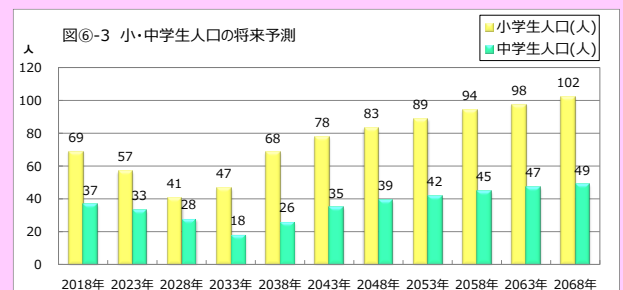
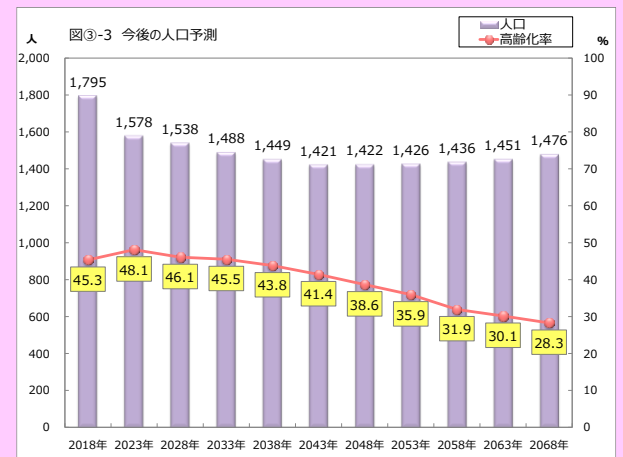
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.30)
- 流出率：10代後半~20代前半の流出率は男0%⇒0%、女41%⇒21%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.4%(71人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 3.2組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 3.2組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 3.2組
- 合計 10組 22人

左記の条件で推計すると...



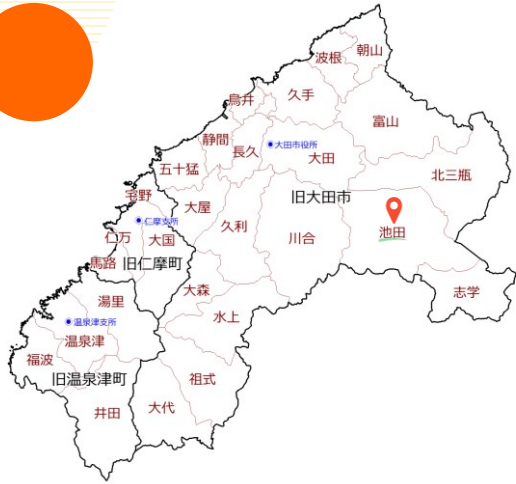
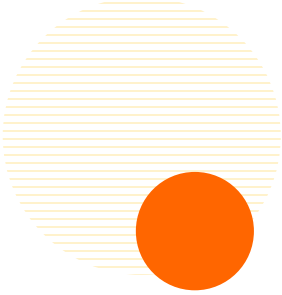
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

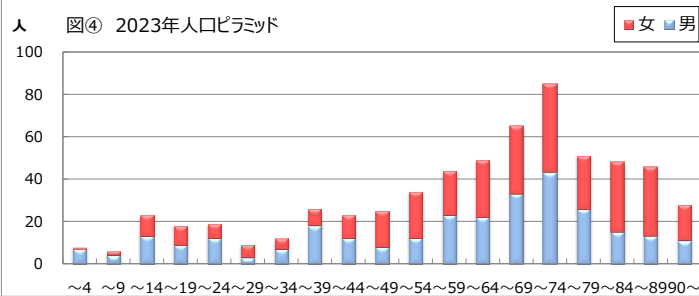
池田地区



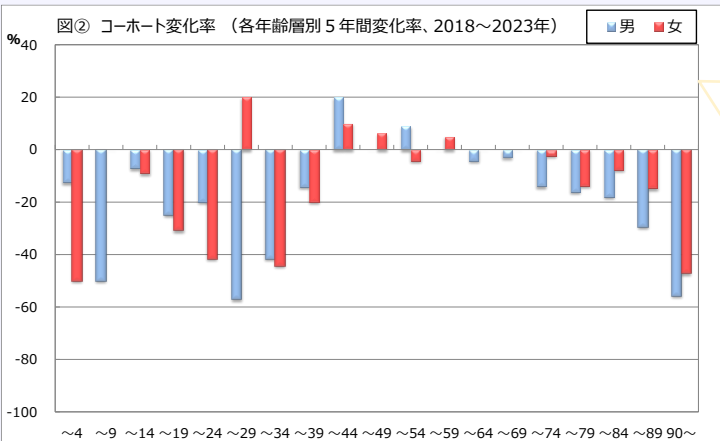
- 人口：619人 (809人)
- 世帯：298世帯 (383世帯)
- 高齢化率：52.2% (52.0%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

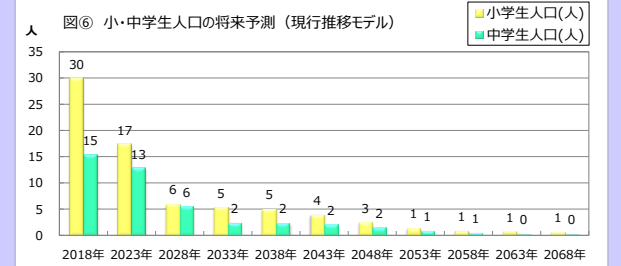
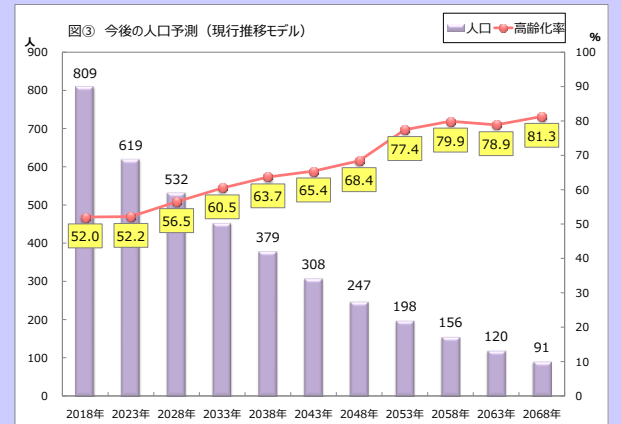


主力世代は、60代後半～70代前半
この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半～20代の流出超過をその後十分に取戻せていない。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、5年で半減以下まで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

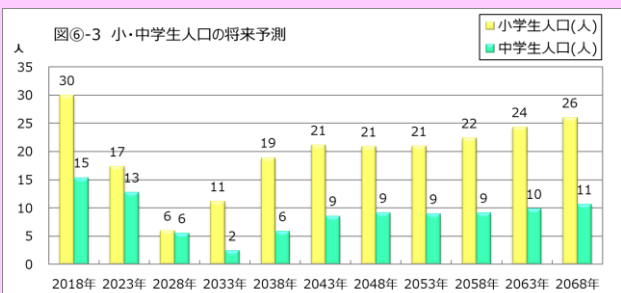
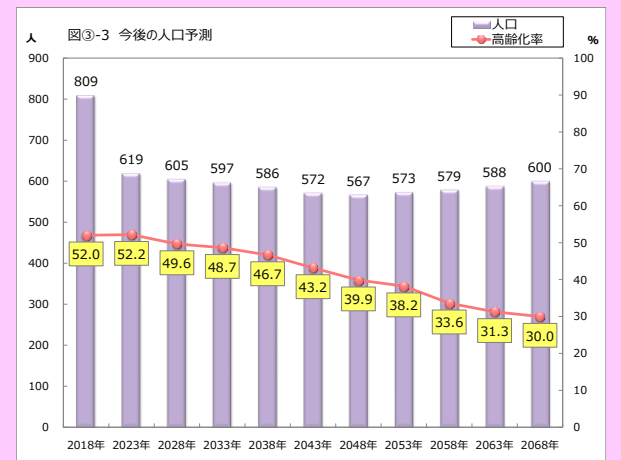
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.23)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男20%⇒10%、女42%⇒21%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.9%(53人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 1.7組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 1.7組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 1.7組
- 合計 5組 12人

左記の条件で推計すると

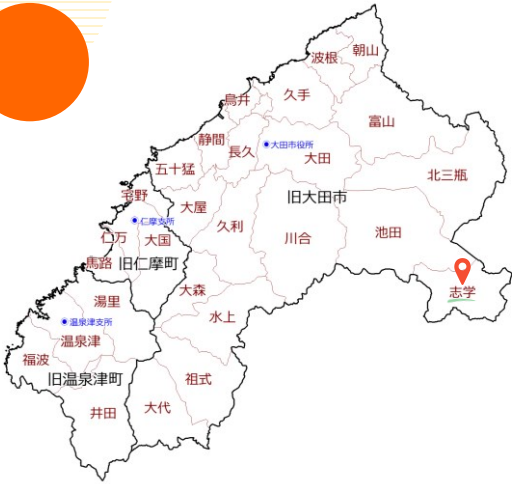


人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

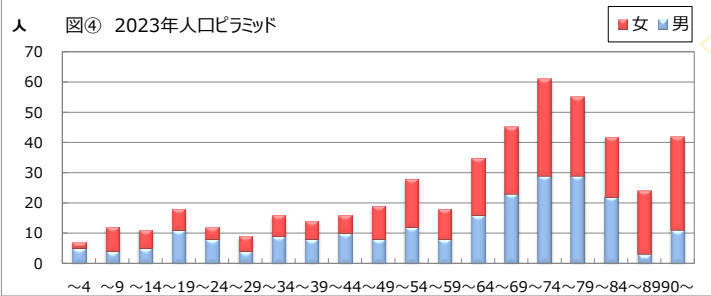
志学地区



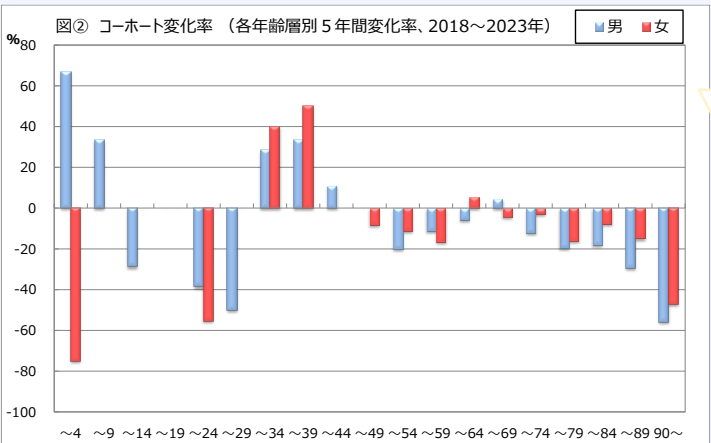
- 人口：484人 (559人)
- 世帯：237世帯 (258世帯)
- 高齢化率：55.6% (52.1%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

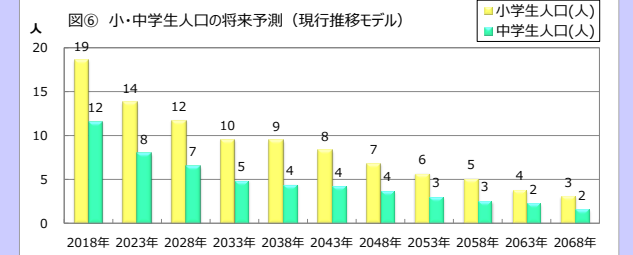
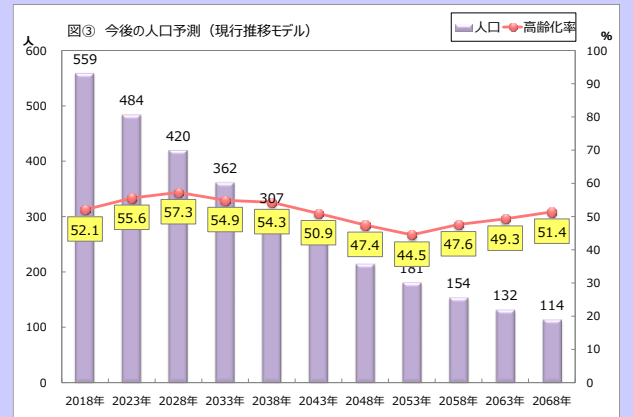


主力世代は、70代。この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代の大幅な流出超過が見られるものの、その後30代子育て世帯を取り戻している。

今後何もしないでいると...



人口は減少、高齢化は横ばい。他地区と比べて小・中学生数の減少は緩やかではあるが着実に減少していく。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

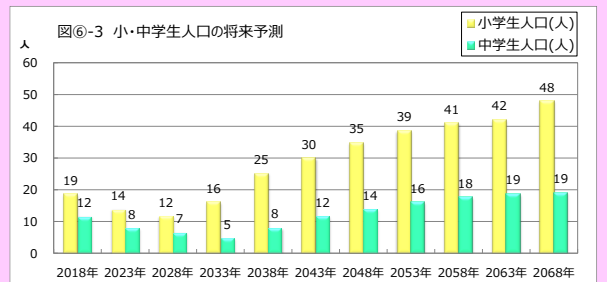
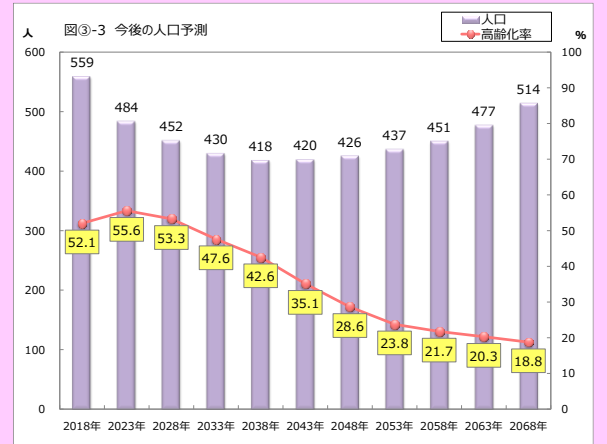
一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.27)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男38%⇒19%、女56%⇒28%とする。
- 定住増加目標：現在人口の0.9%(111人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 0.6組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 0.6組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 0.6組
- 合計 2組 4人

左記の条件で推計すると...



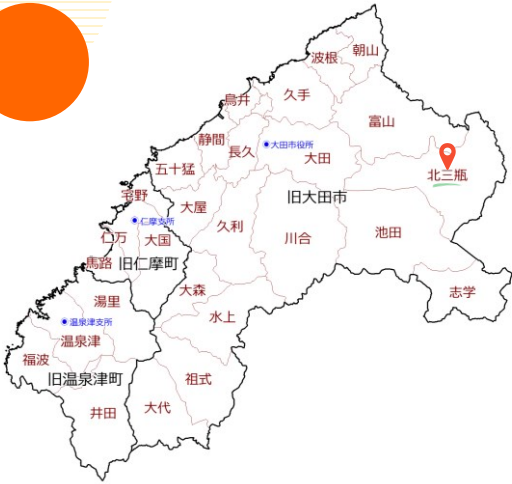
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

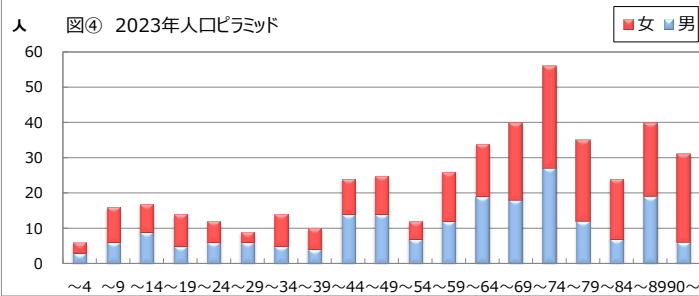
北三瓶地区



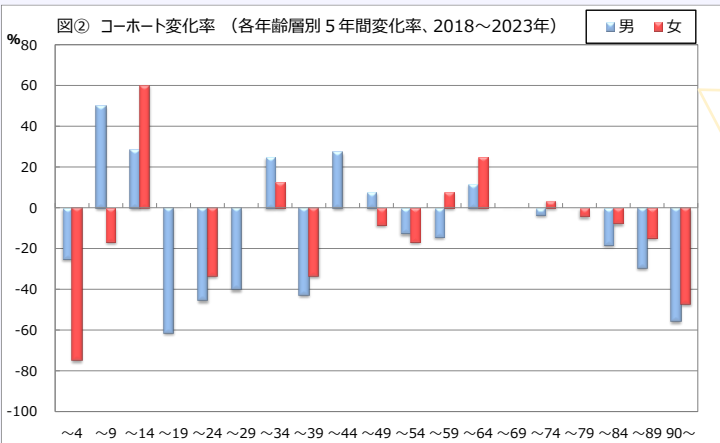
- 人口：445人 (501人)
- 世帯：210世帯 (213世帯)
- 高齢化率：50.8% (46.7%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

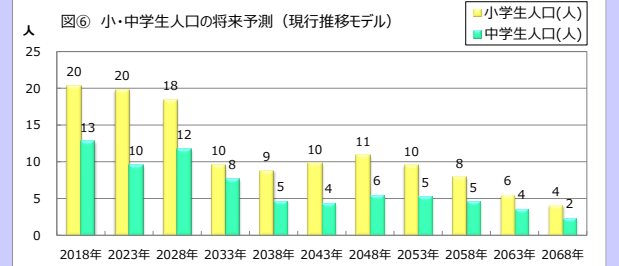
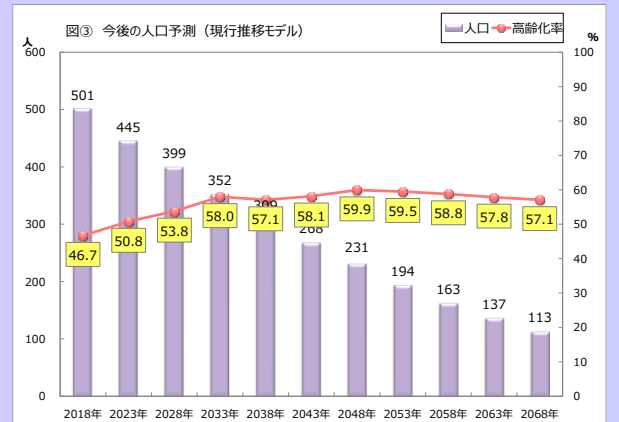


主力世代は、70代前半。
この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半~20代の流出超過が見られるが、子どもを含む子育て世帯の流入が見られる。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、10年で半減まで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

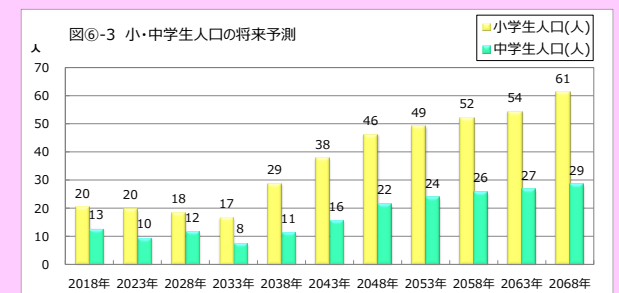
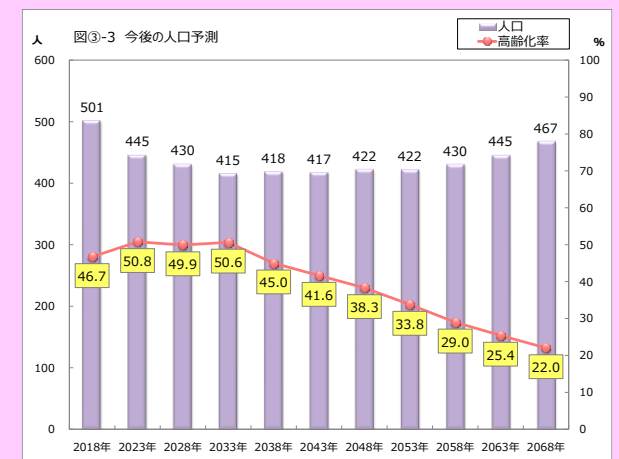
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.00)
- 流出率：10代後半~20代前半の流出率は男45%⇒23%、女33%⇒17%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の0.9%(111人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 0.6組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 0.6組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 0.6組
- 合計 2組 4人

左記の条件で推計すると



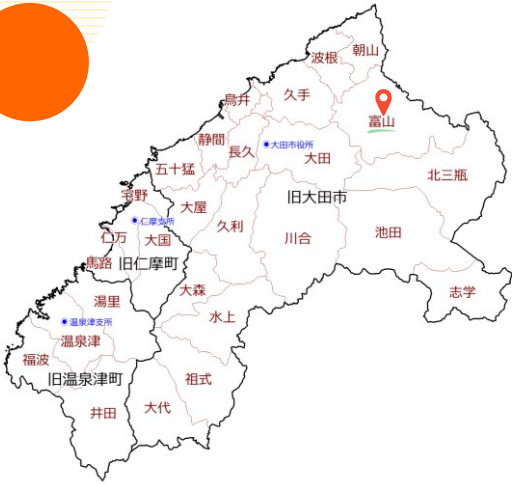
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

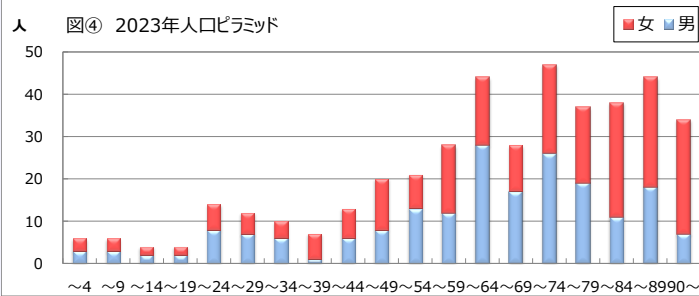
富 山 地 区



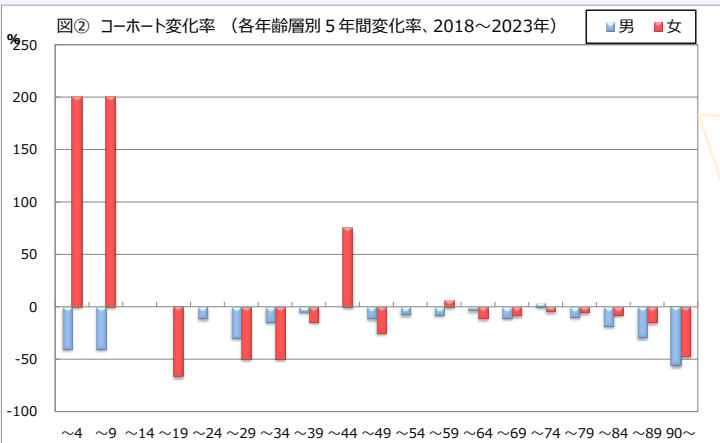
- ・ 人 口 : 417人 (513人)
- ・ 世 帯 : 219世帯 (236世帯)
- ・ 高 齢 化 率 : 54.7% (52.8%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

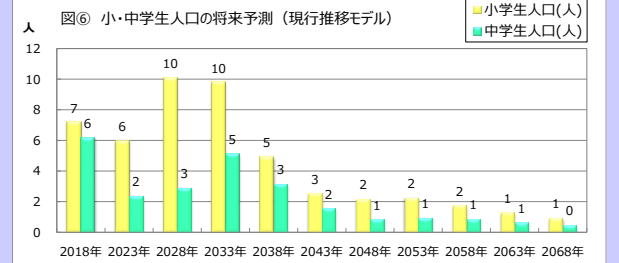
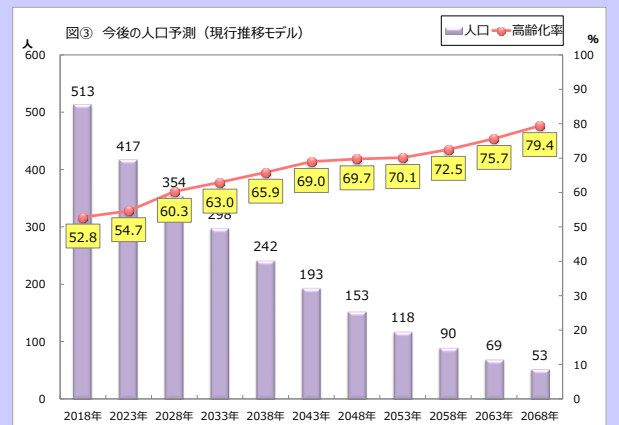


主力世代は、60代前半、70代前半、80代後半。
この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代~30代の流出超過をその後十分に取り戻せていないが、40代後半及び子どもの数が増えており、子育て世帯の流入が見られる。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、一時的に増加予測。
ただし、その後急速に減少。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

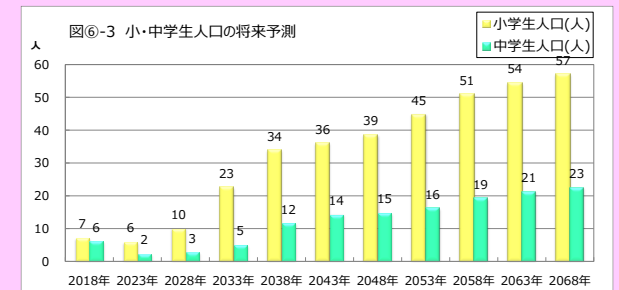
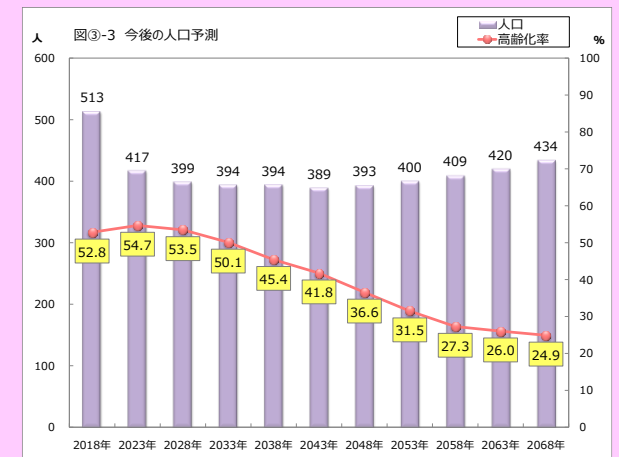
一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率: 2.29に段階的に向上(現在1.14)
- 流出率: 10代後半~20代前半の流出率は男11%⇒6%、女0%⇒0%とする。
- 定住増加目標:
現在人口の1.8%(56人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 1.1組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 1.1組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 1.1組
- 合計 3組 8人

左記の条件で推計すると...



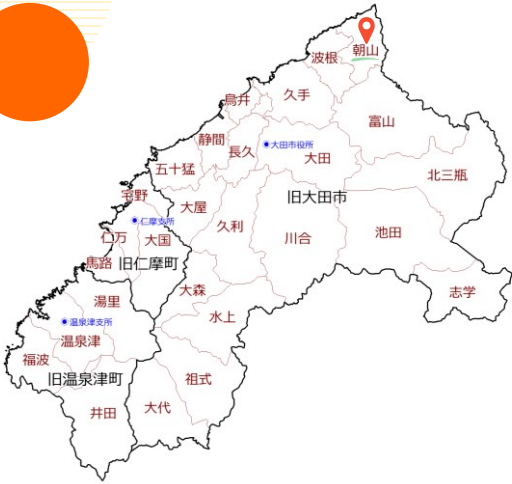
人口の安定化達成へ!

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

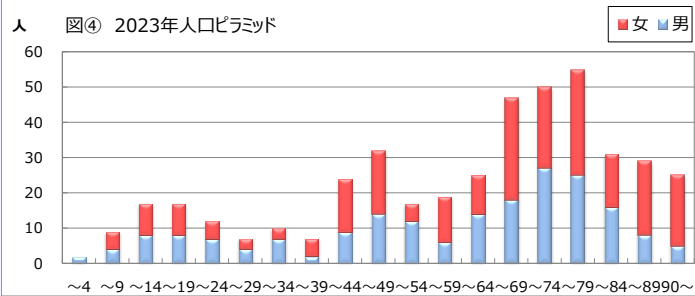
朝山地区



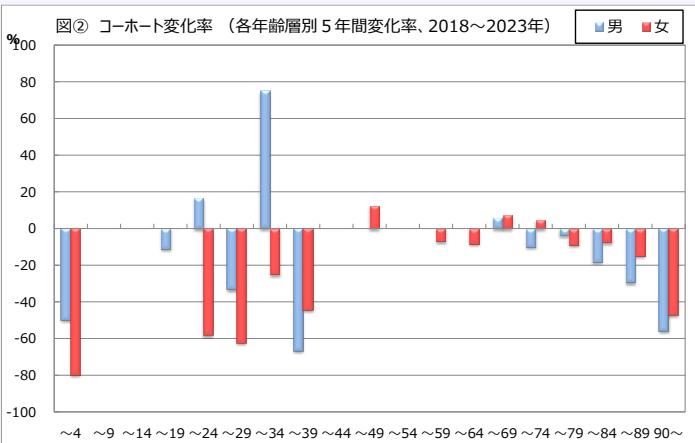
- 人口：435人 (489人)
- 世帯：190世帯 (193世帯)
- 高齢化率：54.5% (46.8%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

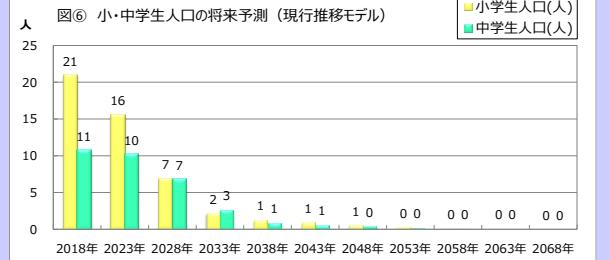
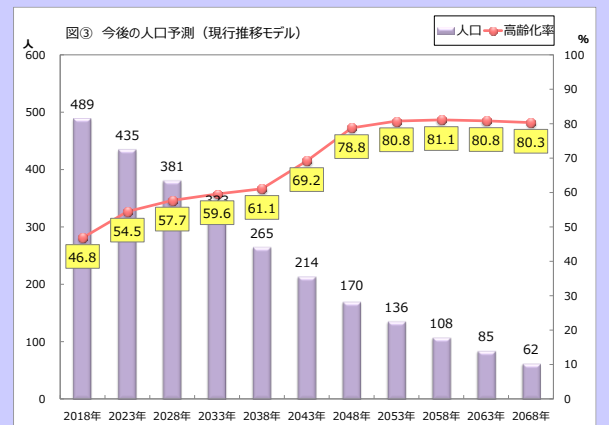


主力世代は、60代後半～70代後半。この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



30代前半を除いて大幅な流出超過となっている。今後、かなり急激な少子化が懸念される。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が急速に進行。小・中学生数は、5年で半減近くまで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

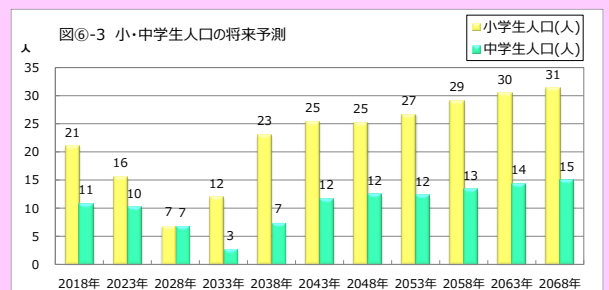
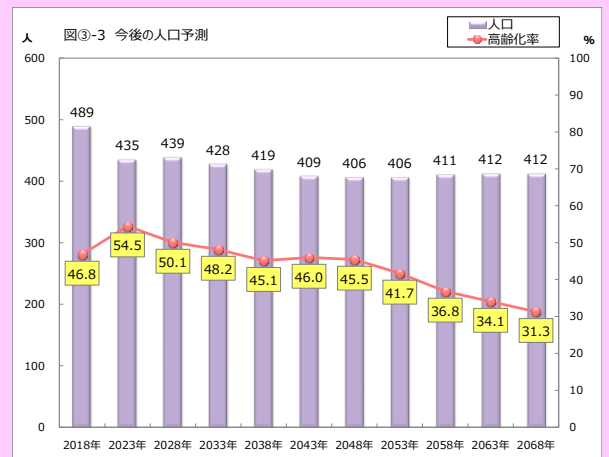
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在0.50)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男-17%⇒-17%、女58%⇒29%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の2.1%(48人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 1.3組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 1.3組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 1.3組
- 合計 4組 9人

左記の条件で推計すると...



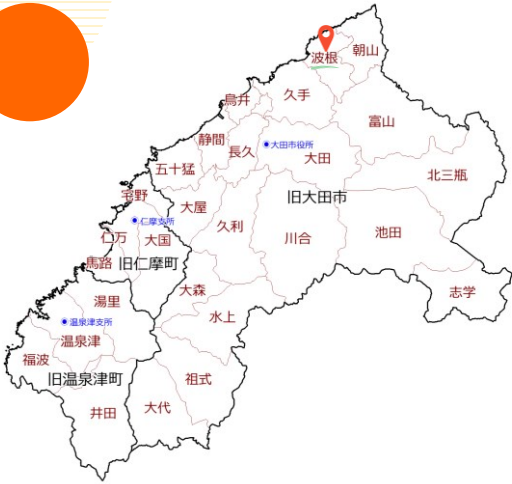
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

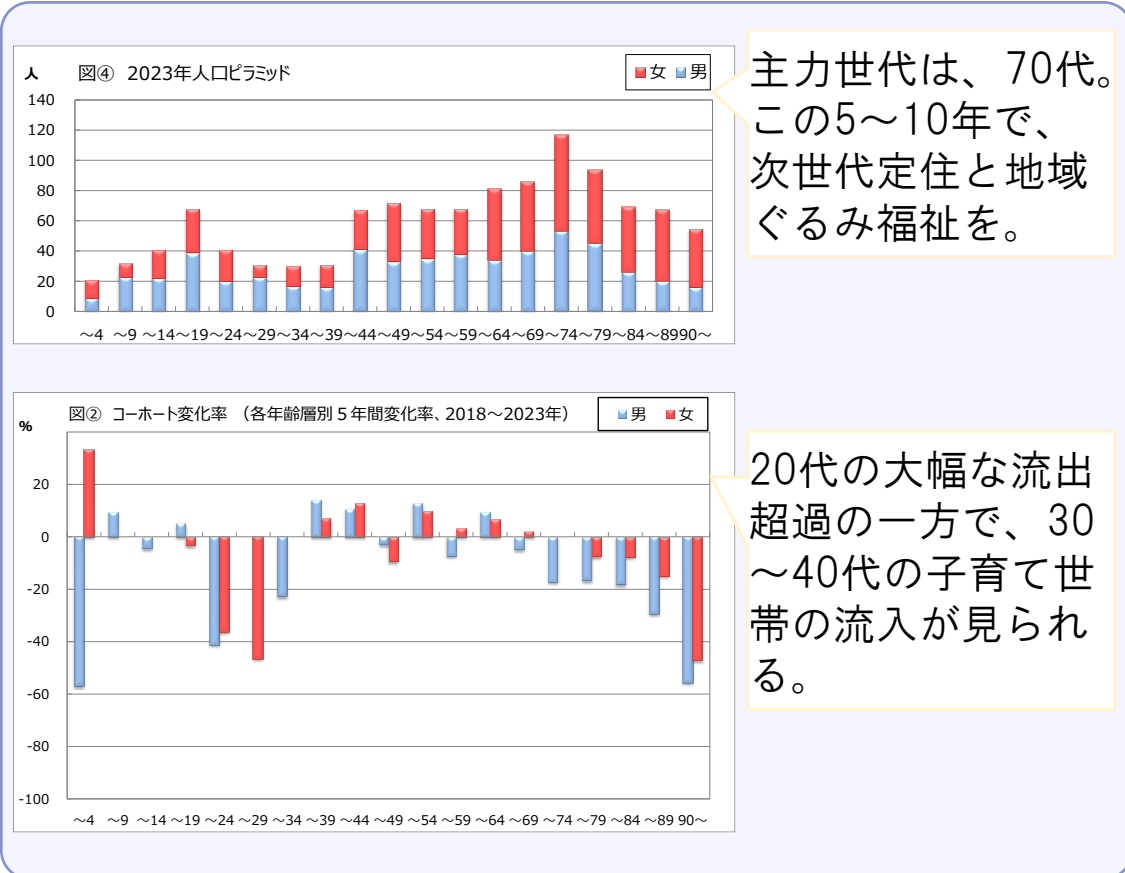
波根地区



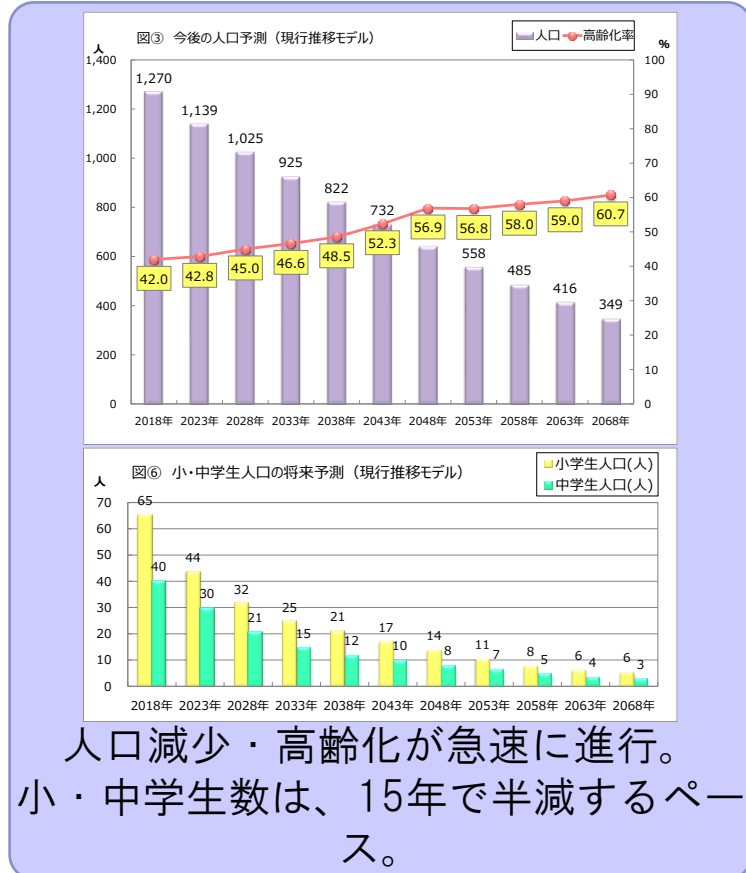
- ・人口：1,139人 (1,270人)
- ・世帯：509世帯 (525世帯)
- ・高齢化率：42.8% (42.0%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状



今後何もしないでいると



人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

人口安定化シミュレーション

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.47)
- 流出率：10代後半~20代前半の流出率は男41%⇒21%、女36%⇒18%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の0.9%(111人に1人)

20代前半男女1組(2名) ☺☺ 1.5組

30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 1.5組

60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 1.5組

合計 5組 11人

左記の条件で推計すると

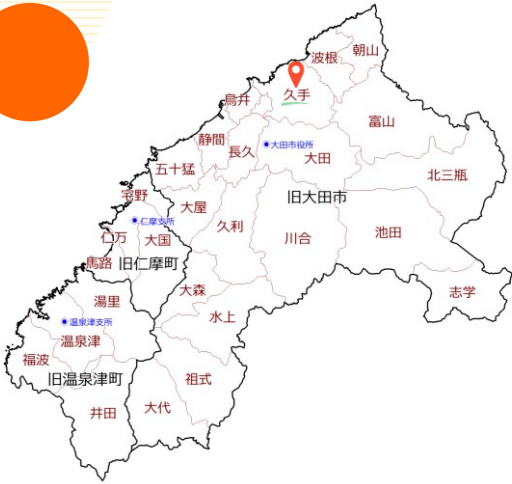


人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

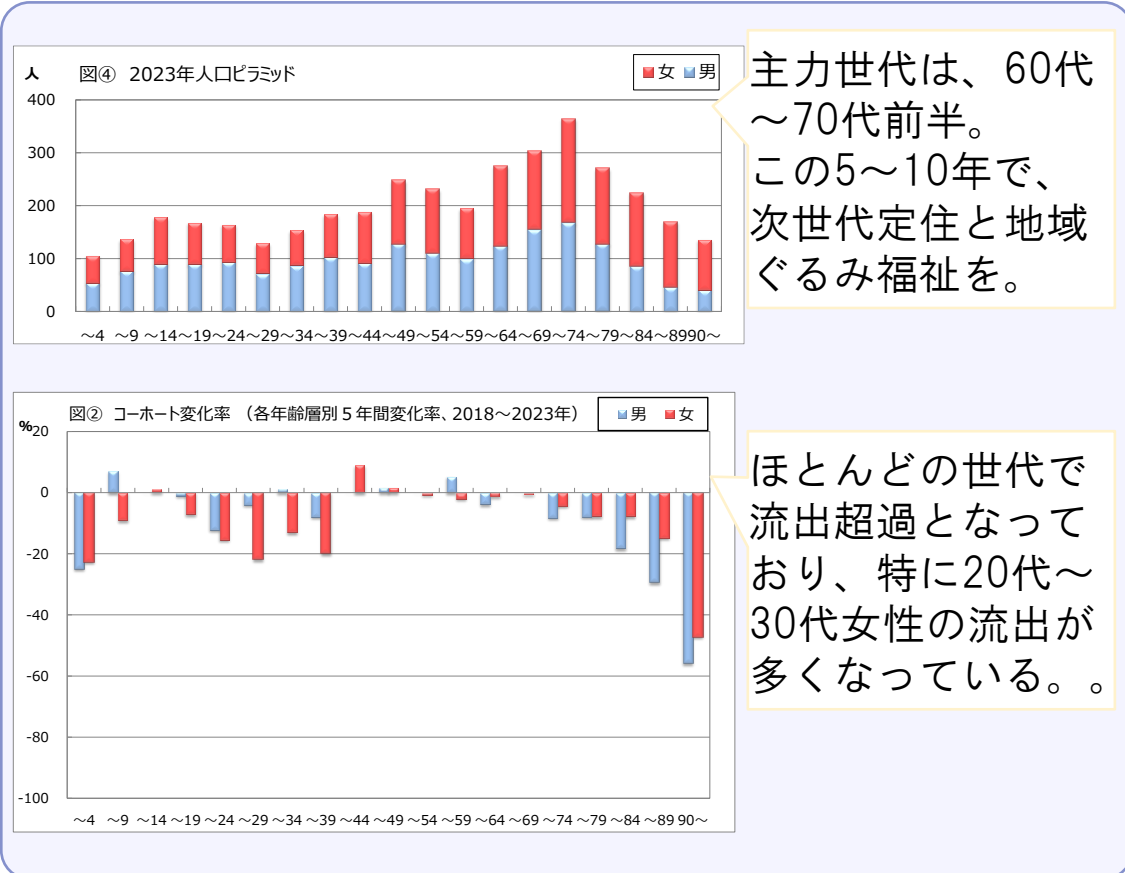
久手地区



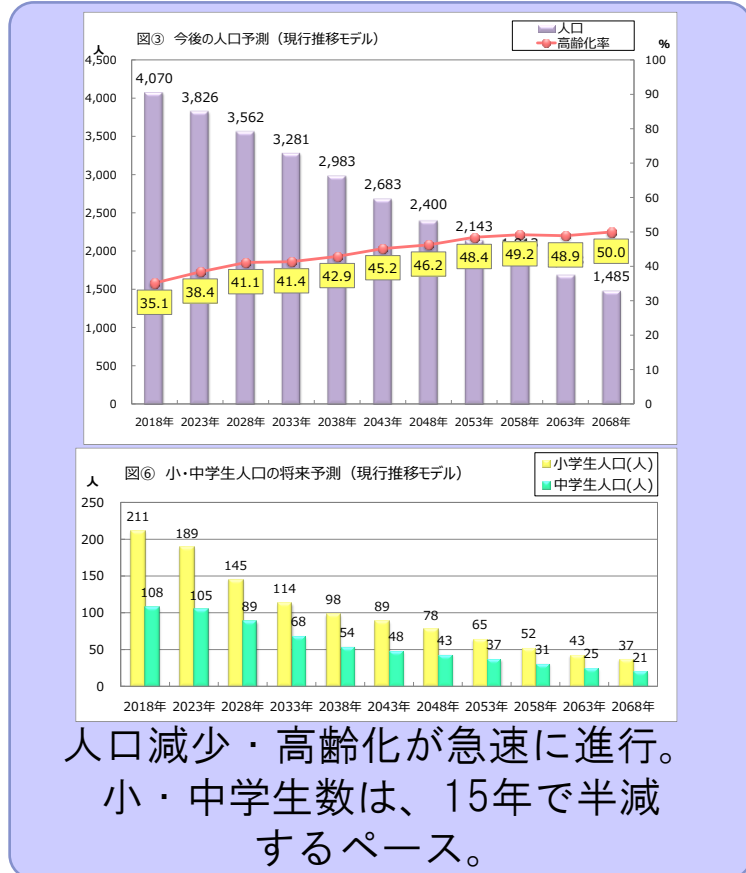
- 人口：3,826人 (4,070人)
- 世帯：1,760世帯 (1,725世帯)
- 高齢化率：38.4% (35.1%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状



今後何もしないでいると...



人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

人口安定化シミュレーション

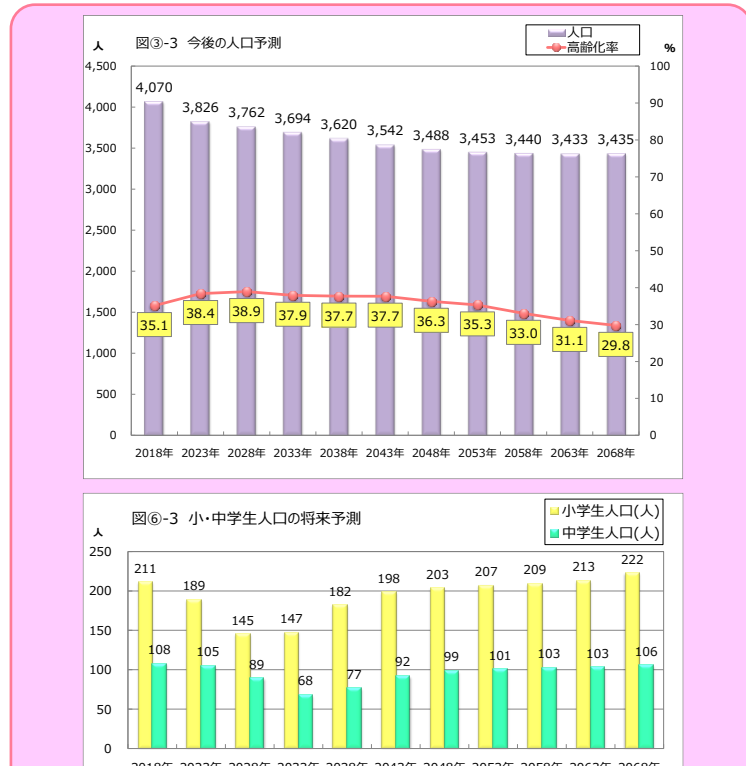
【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.52)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男12%⇒6%、女15%⇒8%とする。
- 定住増加目標：現在人口の0.8%(125人に1人)

合計 13組 31人

- 20代前半男女1組(2名) 4.4組
- 30代子連れ夫婦1組(3名) 4.4組
- 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 4.4組

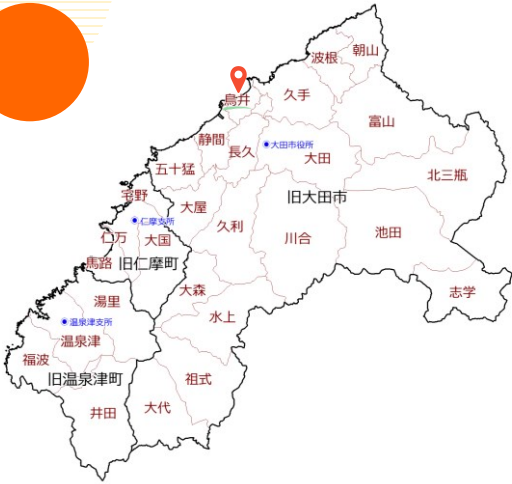
左記の条件で推計すると...



※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

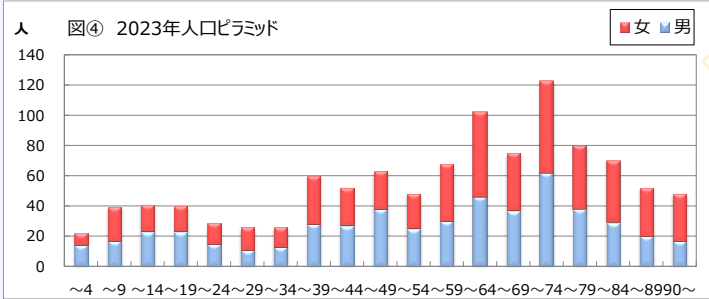
鳥井地区



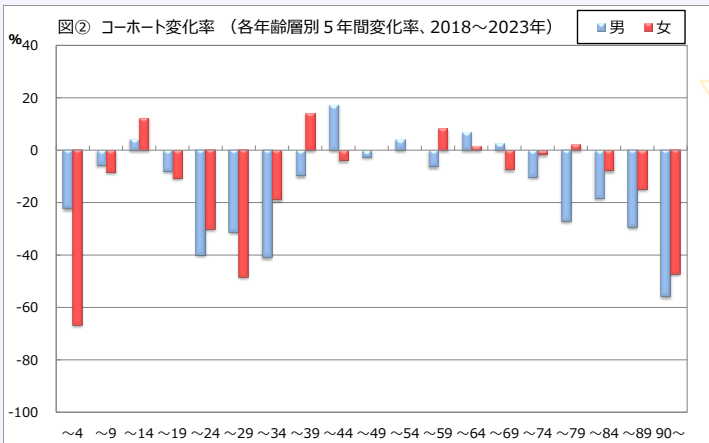
- ・人口：1,064人 (1,191人)
- ・世帯：479世帯 (503世帯)
- ・高齢化率：42.1% (40.1%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

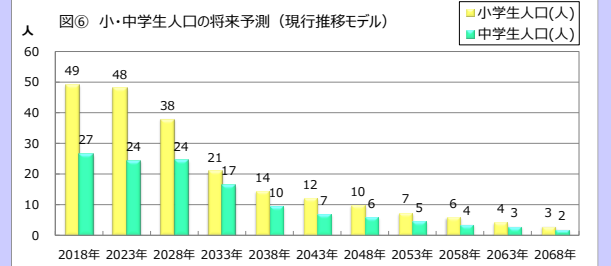
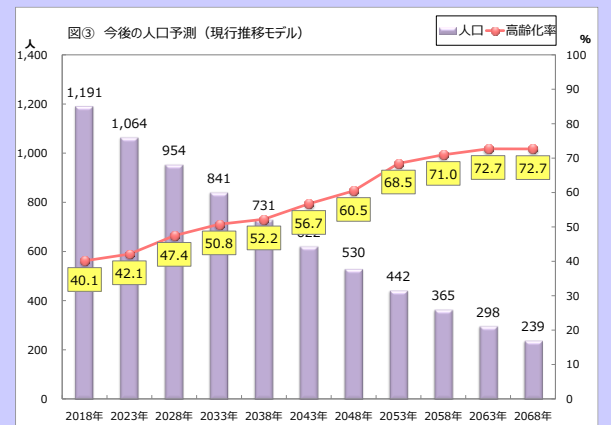


主力世代は、60代前半、70代前半。この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代~30代前半の流出超過をその後十分に取戻せていない。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が急速に進行。小・中学生数は、10年で半減するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

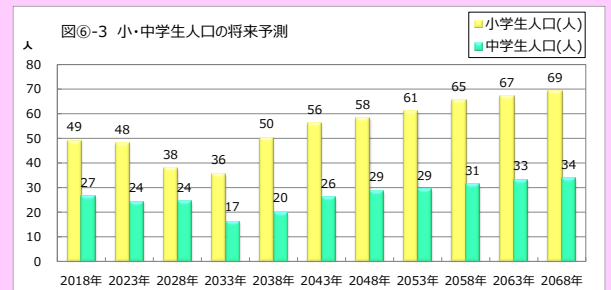
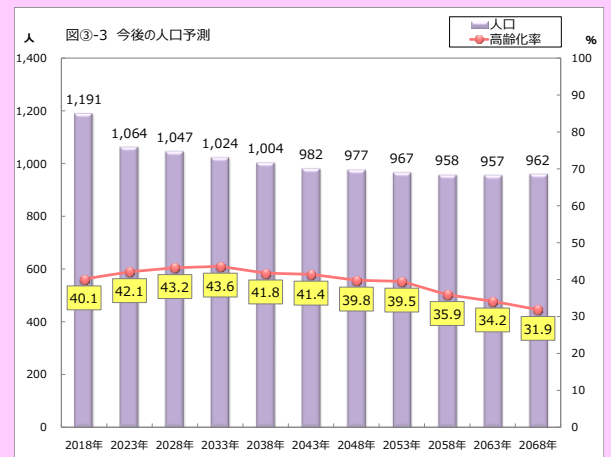
一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.19)
- 流出率：10代後半~20代前半の流出率は男40%⇒20%、女30%⇒15%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.3%(77人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 2.0組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 2.0組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 2.0組
- 合計 6組 14人

左記の条件で推計すると...



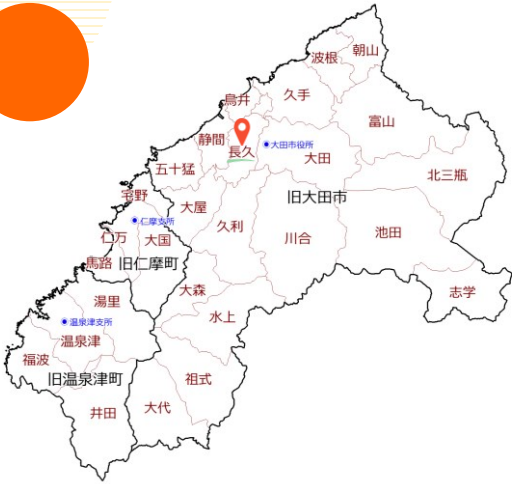
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

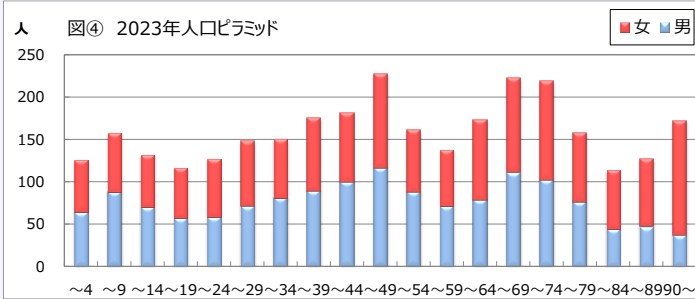
長久地区



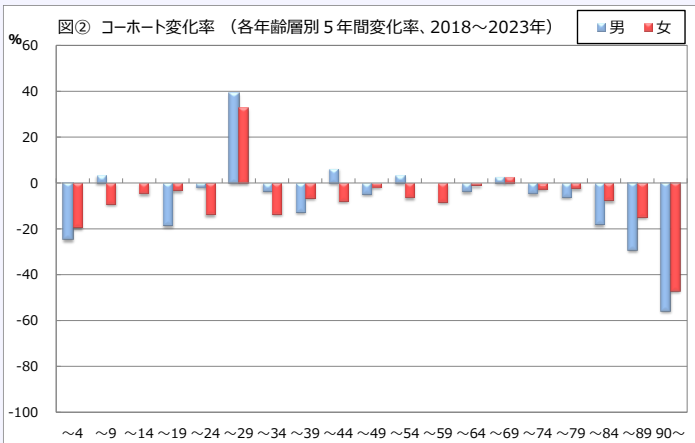
- ・人口：3,029人 (3,009人)
- ・世帯：1,418世帯 (1,297世帯)
- ・高齢化率：33.4% (28.3%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

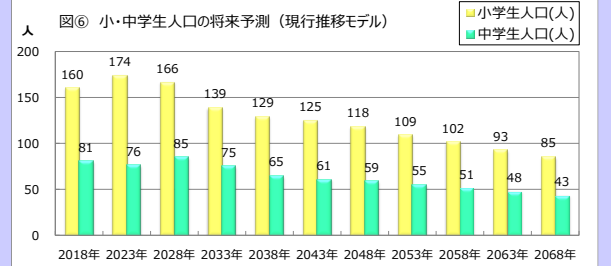
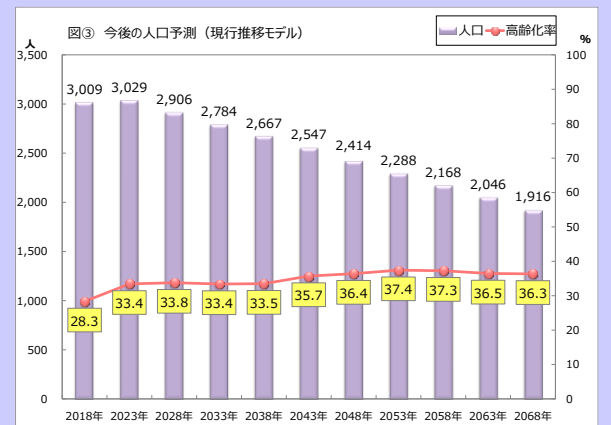


主力世代は、40代後半、60代後半、70代前半。年齢構成のバランスは良い。



20代後半で流入が見られており、他の地区にはない動向を示している。ただ一方で、それ以外の世代は流出している。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化は緩やかに進行。小・中学生数も緩やかに減少していく。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

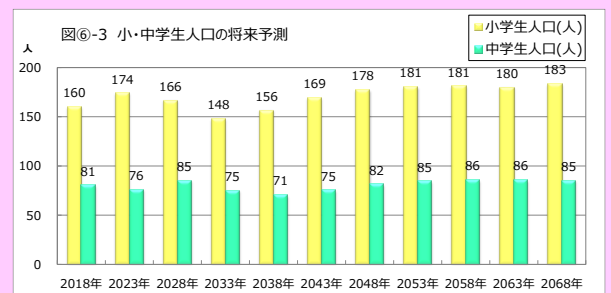
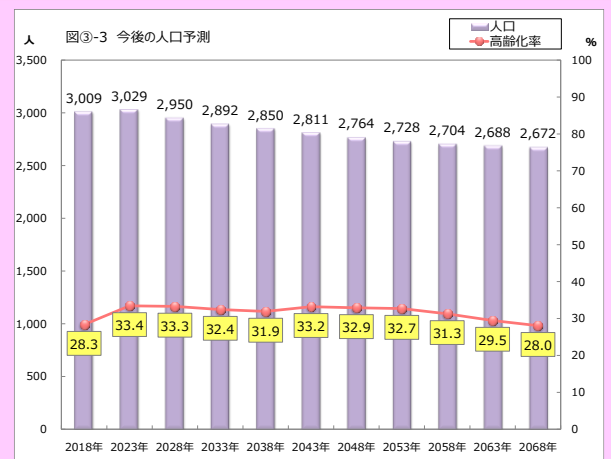
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.66)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男2%⇒1%、女14%⇒7%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の0.2%(500人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 0.8組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 0.8組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 0.8組
- 合計 2組 6人

左記の条件で推計すると...



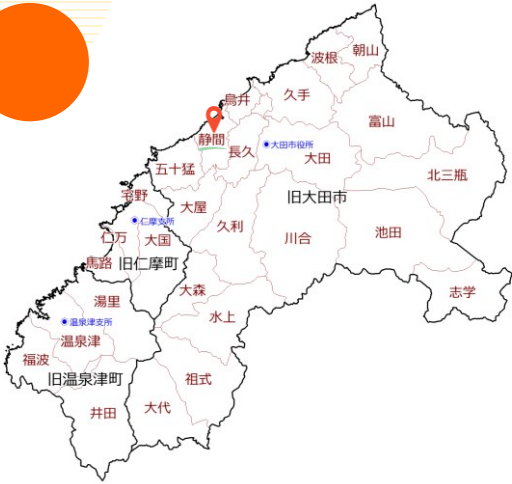
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

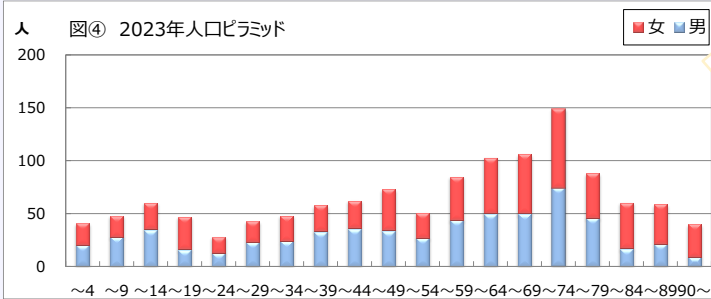
静 間 地 区



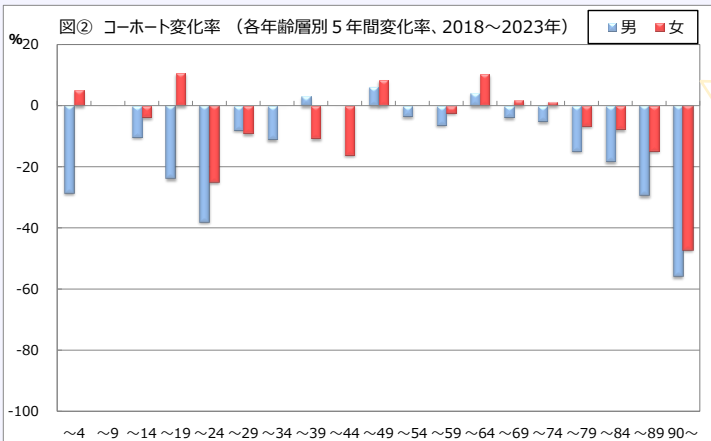
- ・ 人 口 : 1,249人 (1,354人)
- ・ 世 帯 : 534世帯 (548世帯)
- ・ 高 齢 化 率 : 40.2% (38.0%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

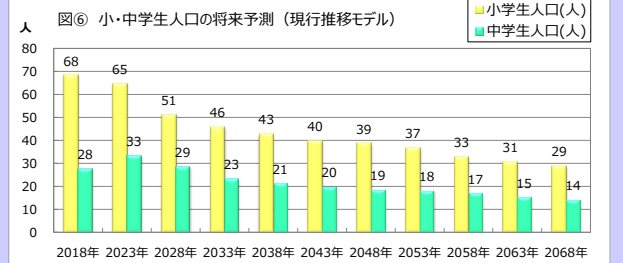
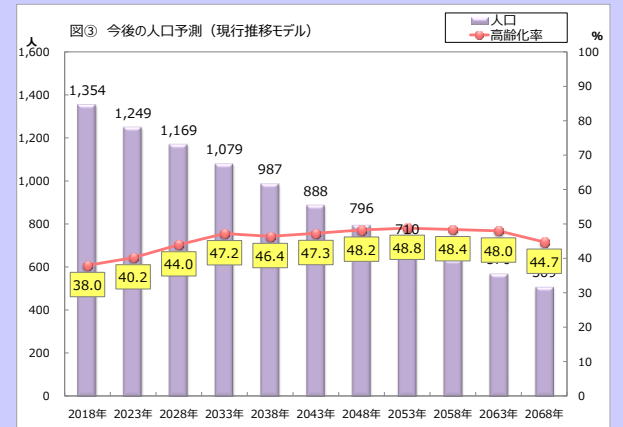


主力世代は、70代前半。
この5~10年で、
次世代定住と地域
ぐるみ福祉を。



10代後半~20代の
流出超過をその後
十分に取戻せて
いない。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が進行。
小・中学生数も今後緩やかに減少
するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

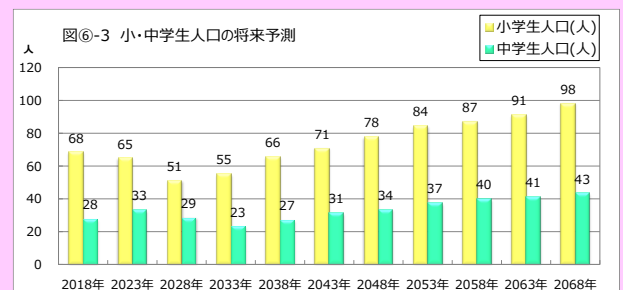
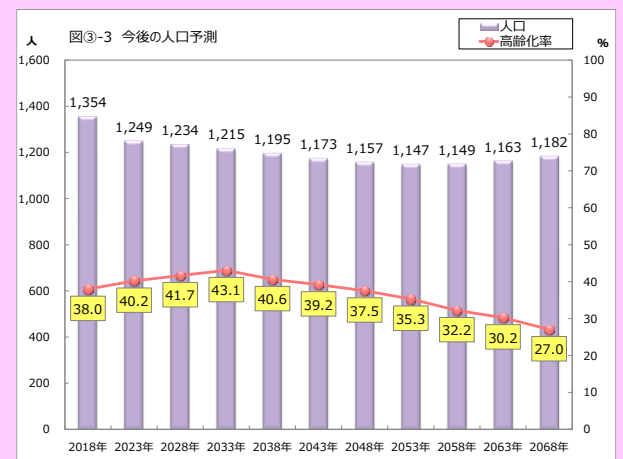
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出 生 率 : 2.29に段階的に向上 (現在1.95)
- 流 出 率 : 10代後半~20代前半の流出率は 男38%⇒19%、女25%⇒13%とする。
- 定住増加目標 : 現在人口の0.8% (125人に1人)

- 20代前半男女1組 (2名) ☺☺ 1.4組
 - 30代子連れ夫婦1組 (3名) ☺☺☺ 1.4組
 - 60代定年帰郷夫婦1組 (2名) ☺☺ 1.4組
- 合計 4組 10人

左記の条件で推計すると...



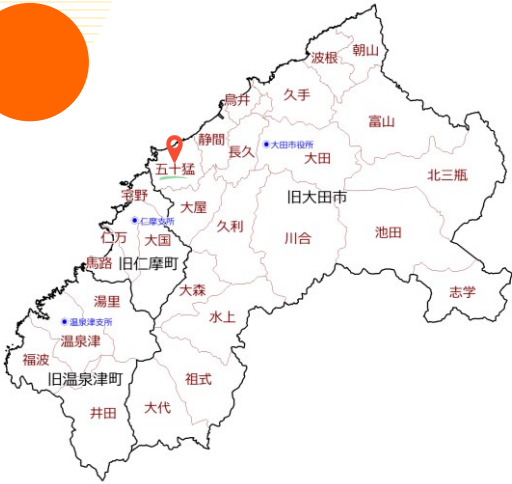
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

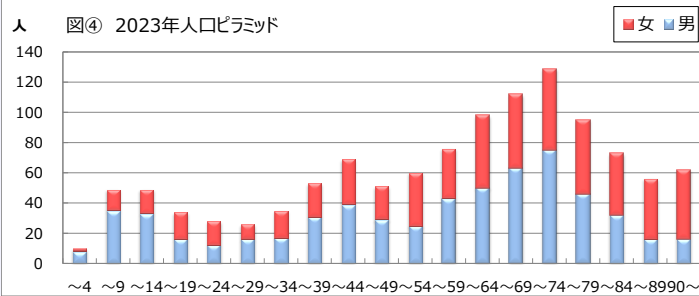
五十猛地区



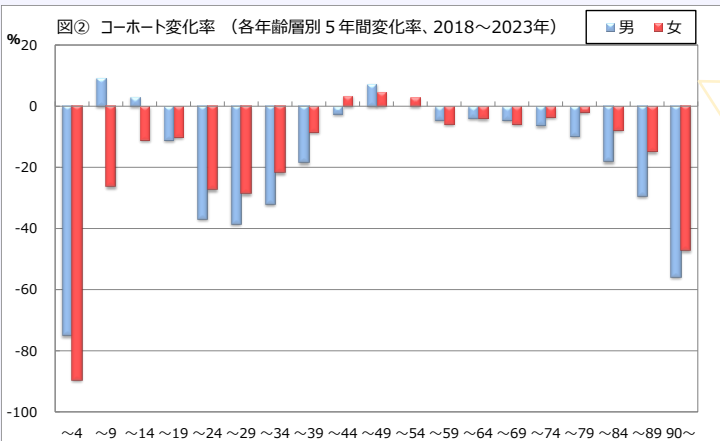
- 人口：1,165人 (1,336人)
- 世帯：533世帯 (573世帯)
- 高齢化率：45.2% (39.7%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

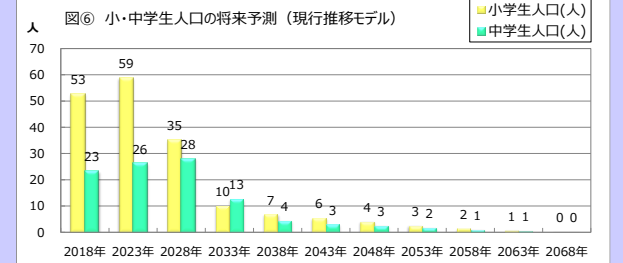
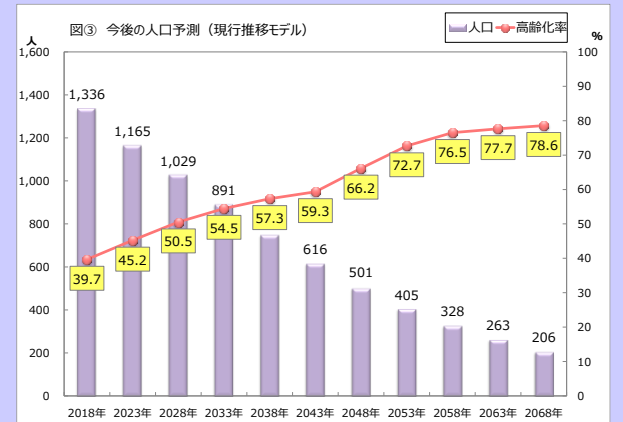


主力世代は、60代後半～70代前半。この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代～30代の流出超過をその後十分に取り戻せていない。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。小・中学生数は、5年で半減近くまで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

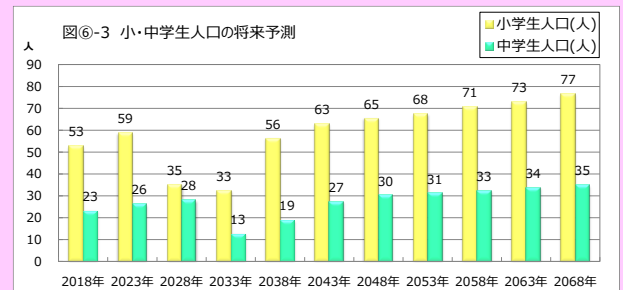
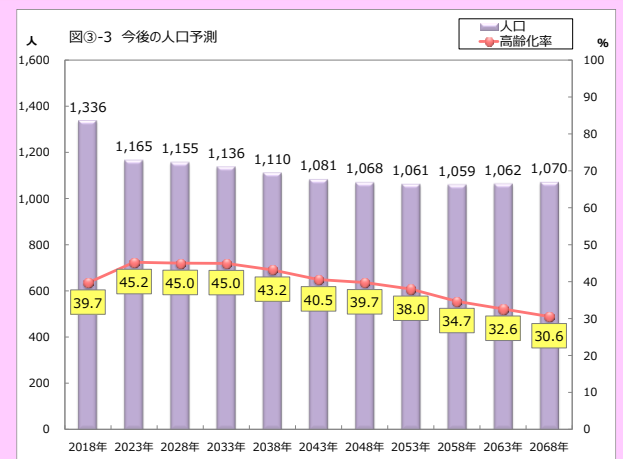
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在0.61)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男37%⇒18%、女27%⇒14%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.6%(63人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 2.7組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 2.7組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 2.7組
- 合計 8組 19人

左記の条件で推計すると



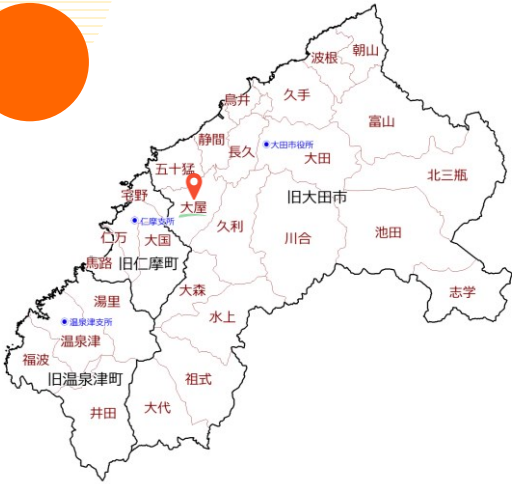
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

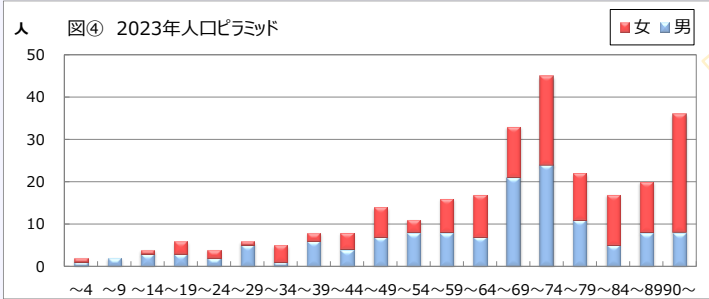
大屋地区



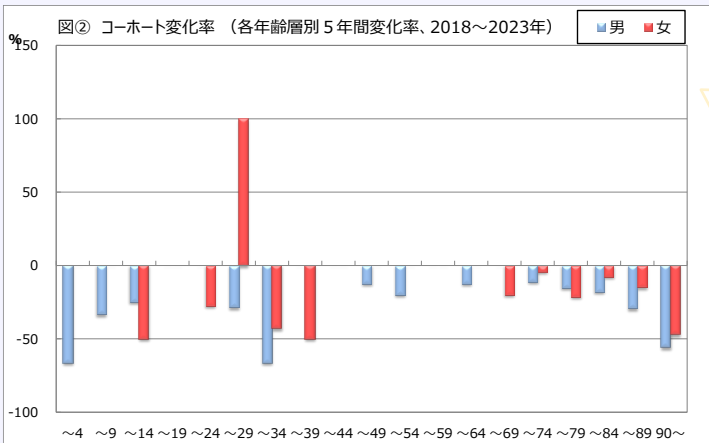
- 人口：276人 (344人)
- 世帯：150世帯 (165世帯)
- 高齢化率：62.7% (54.4%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

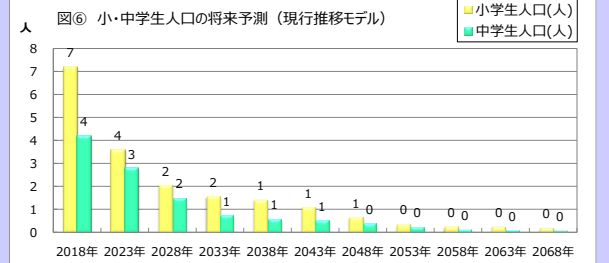
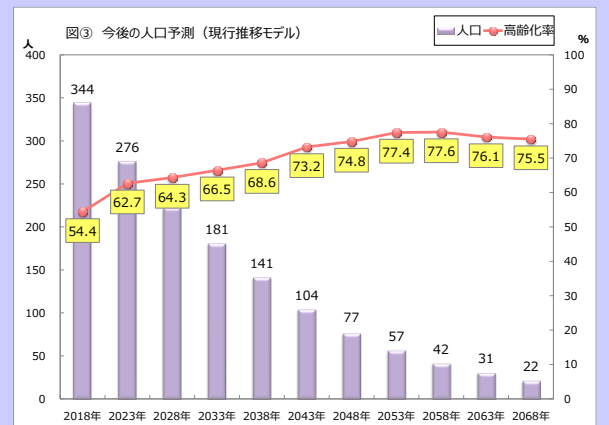


主力世代は、60代後半～70代前半
この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代後半女性の流入が見られているが、これ以外の世代は流出超過となっている。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、5年で半減以下まで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

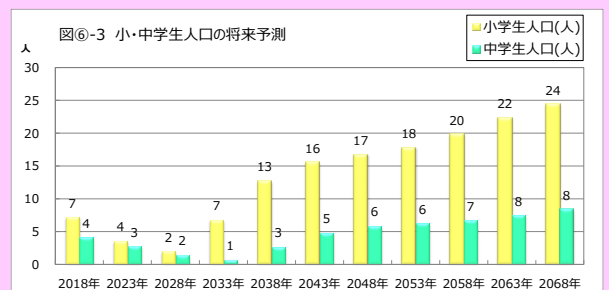
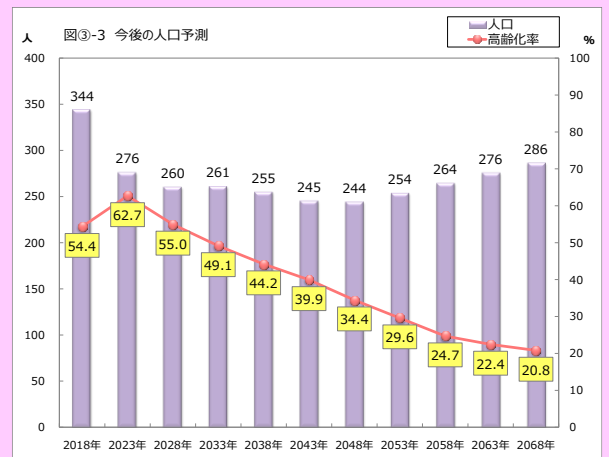
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在0.89)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男0%⇒0%、女28%⇒14%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の2.3%(43人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 0.9組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 0.9組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 0.9組
- 合計 3組 6人

左記の条件で推計すると



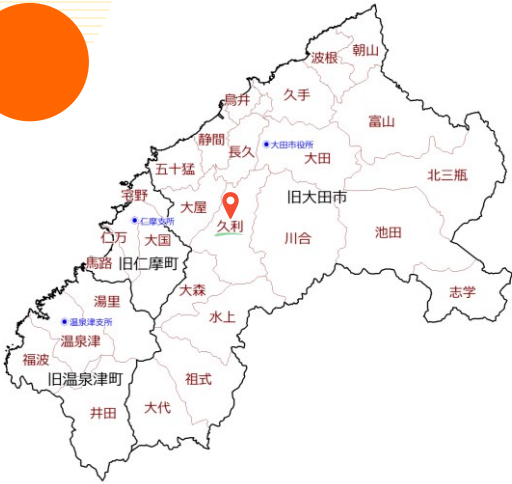
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

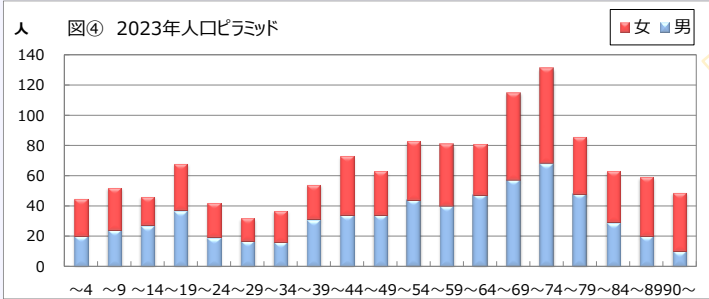
久利地区



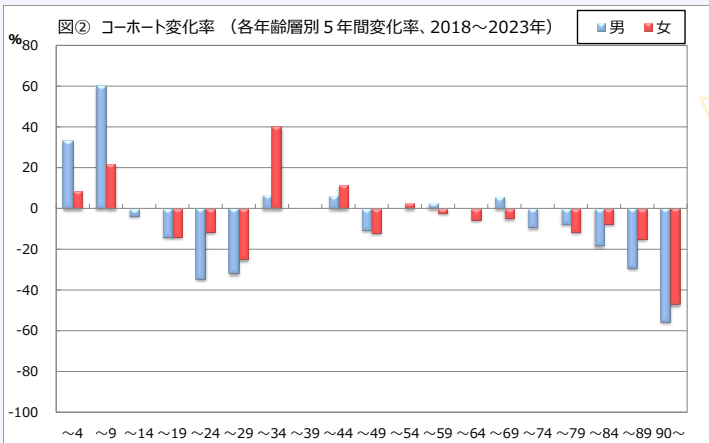
- ・人口：1,260人 (1,337人)
- ・世帯：537世帯 (542世帯)
- ・高齢化率：39.9% (36.6%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

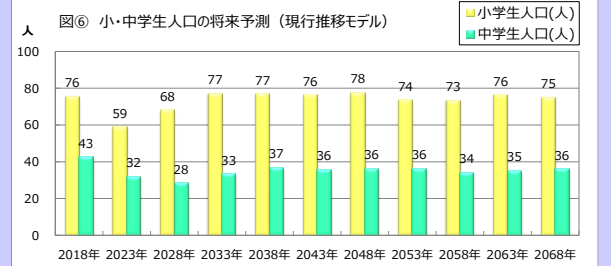
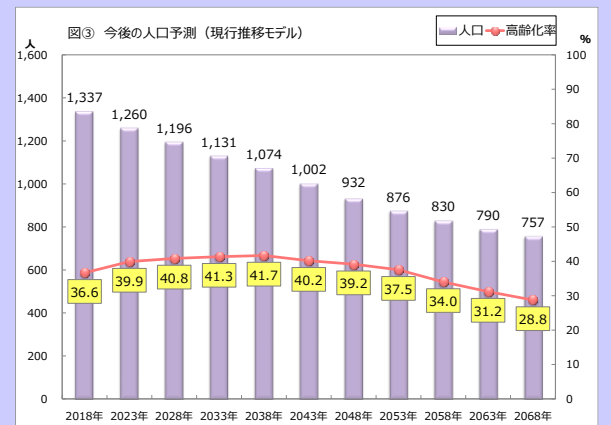


主力世代は、60代後半～70代前半。この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半～20代の流出超過が見られるものの、30代女性や子どもなどの子育て世帯が戻ってきている。

今後何もしないでいると...



人口は減少する見込みだが、高齢化率は徐々に改善。小・中学生数は、今後も安定する。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

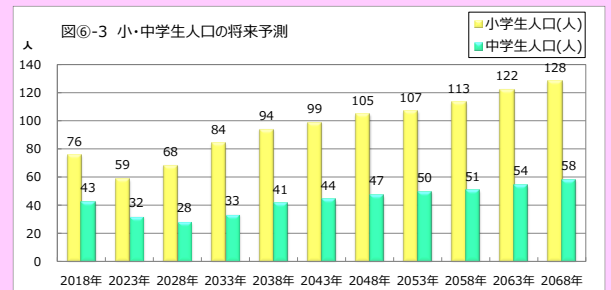
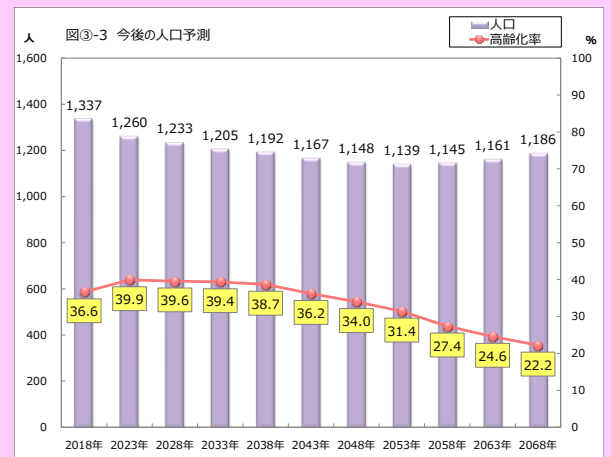
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在2.20)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男34%⇒17%、女12%⇒6%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の0.4%(250人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 0.7組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 0.7組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 0.7組
- 合計 2組 5人

左記の条件で推計すると...



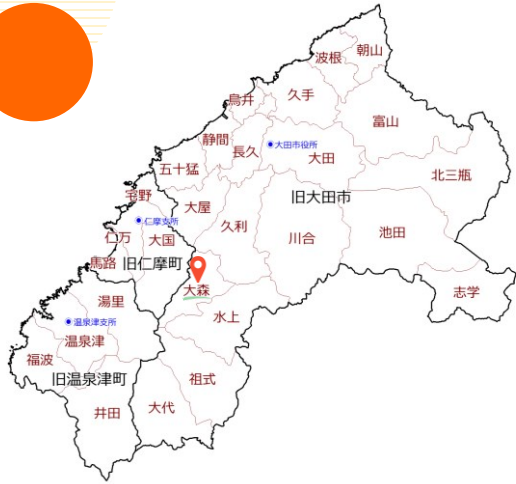
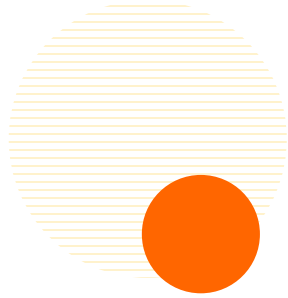
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

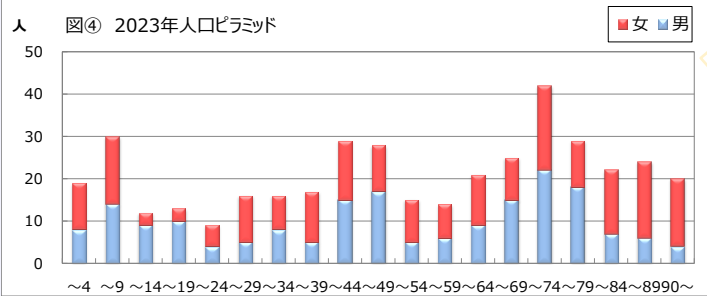
大森地区



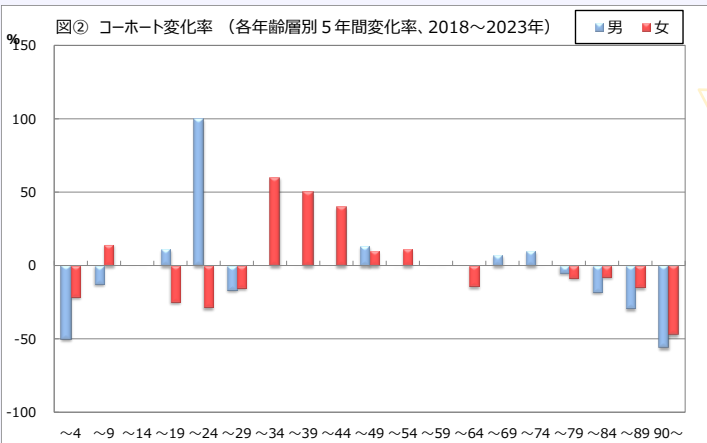
- 人口：401人 (403人)
- 世帯：200世帯 (196世帯)
- 高齢化率：40.4% (41.9%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

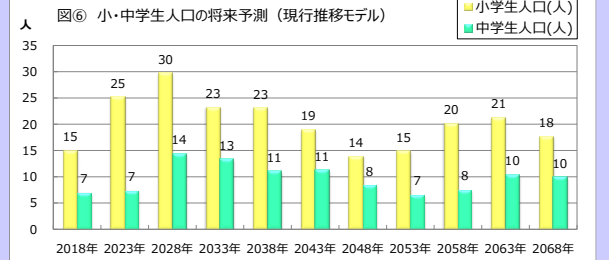
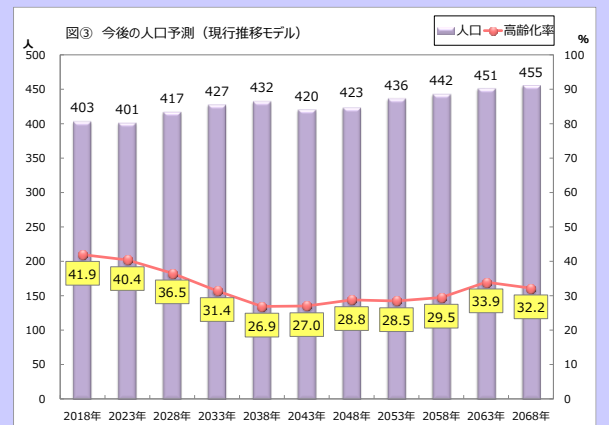


主力世代は、70代前半であるが、40代、5～9歳にも世代の塊が形成されている。



20代男性の大幅な流入を始め、30代～40代の子育て世帯の流入も顕著である。

今後何もしないでいると



今後も人口は増えていく見込み。小・中学生数も20人前後で推移。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

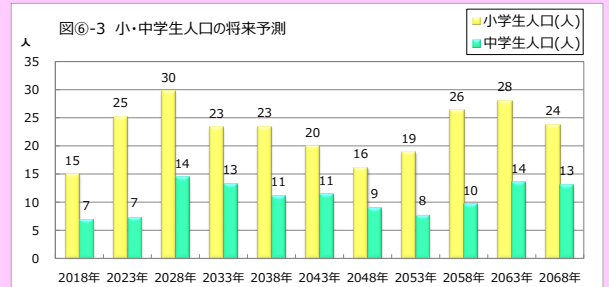
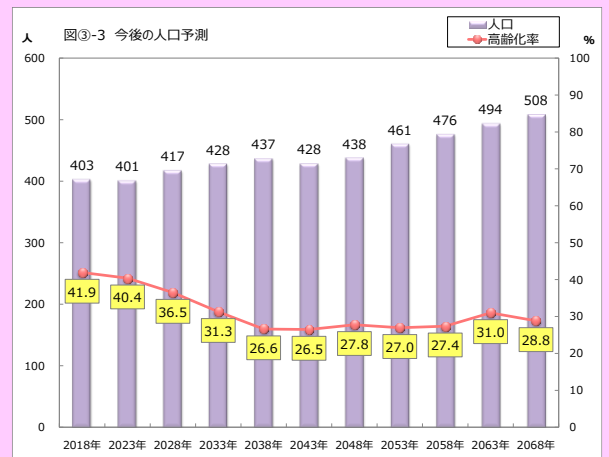
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在2.11)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男-100%⇒-100%、女29%⇒14%とする。
- 定住増加目標：必要なし

人口安定化シミュレーション

左記の条件で推計すると

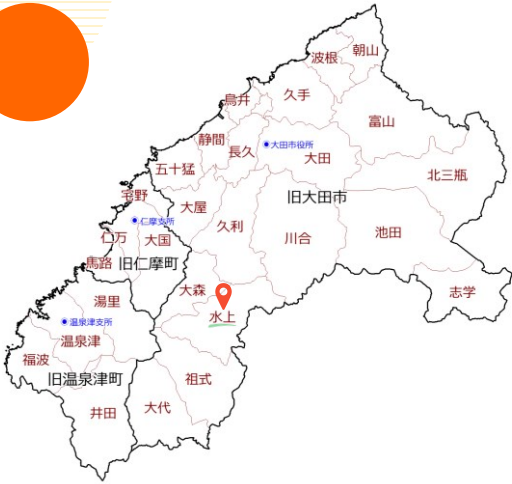


人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

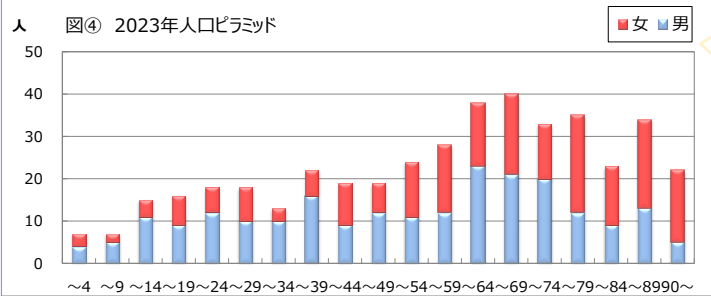
水 上 地 区



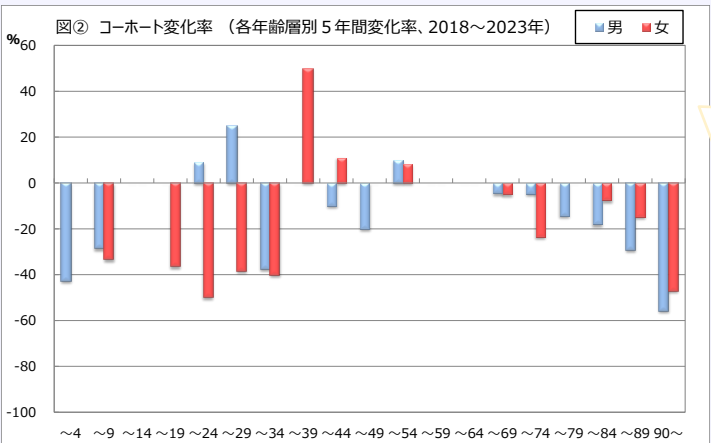
- ・ 人 口 : 431人 (496人)
- ・ 世 帯 : 221世帯 (226世帯)
- ・ 高 齢 化 率 : 43.4% (39.3%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

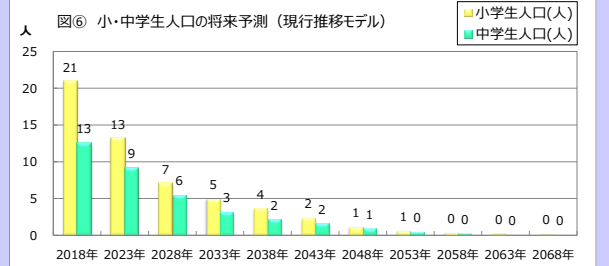
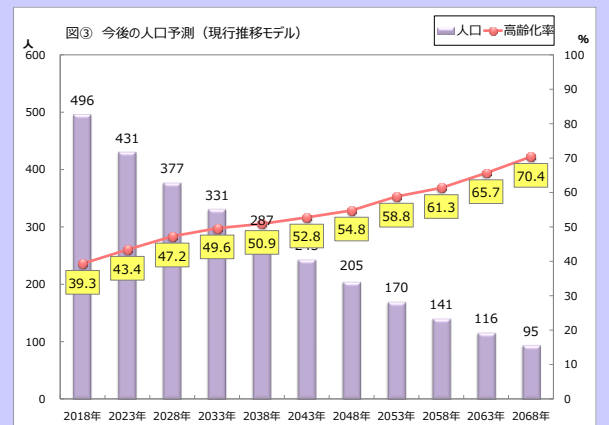


主力世代は、60代。この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半~30代の流出超過が見られ、特に女性の流出が多くみられる。一方で、30代後半女性の流入も見られる。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が急速に進行。小・中学生数は、5年で半減近くまで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

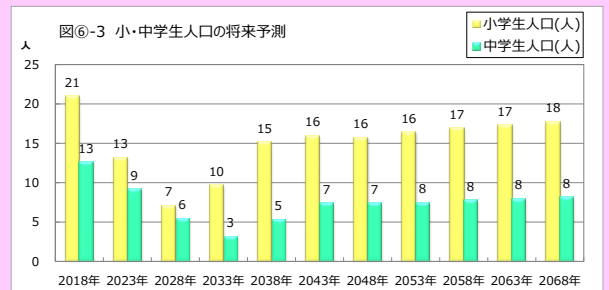
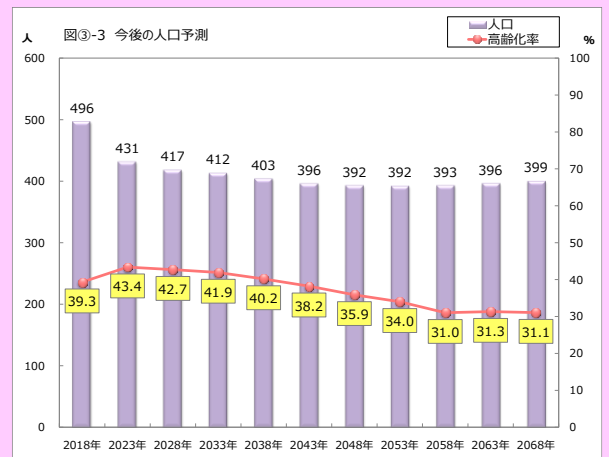
一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率: 2.29に段階的に向上(現在1.22)
- 流出率: 10代後半~20代前半の流出率は男-9%⇒-9%、女50%⇒25%とする。
- 定住増加目標: 現在人口の1.5%(67人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 0.9組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 0.9組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 0.9組
- 合計 3組 6人

左記の条件で推計すると...



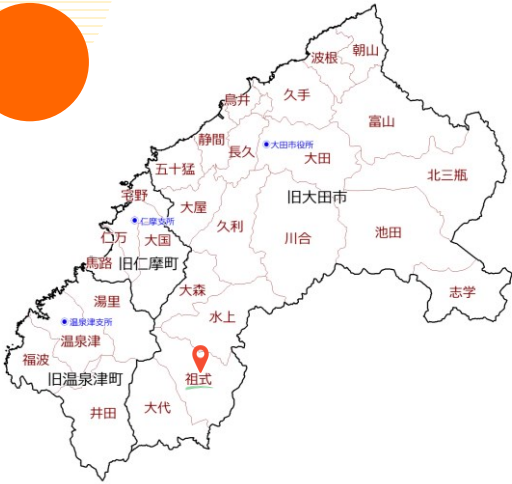
人口の安定化達成へ!

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

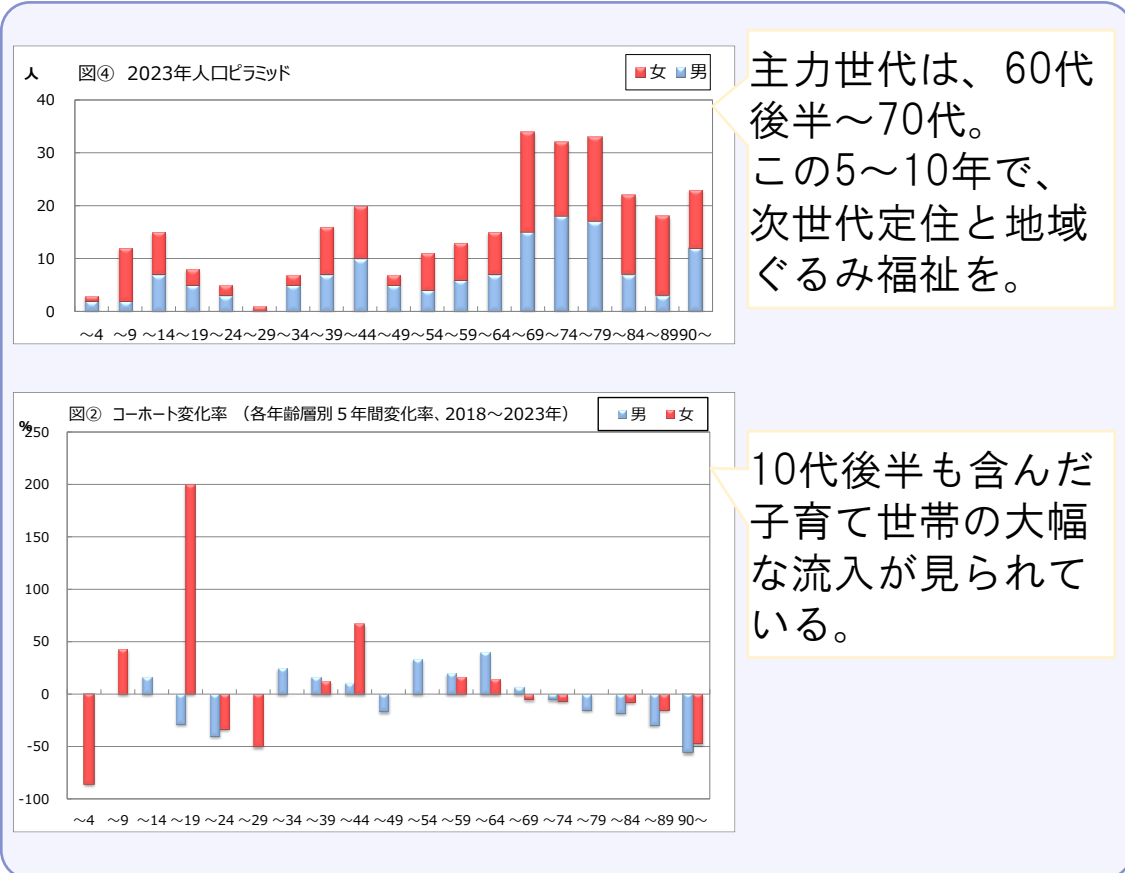
祖式地区



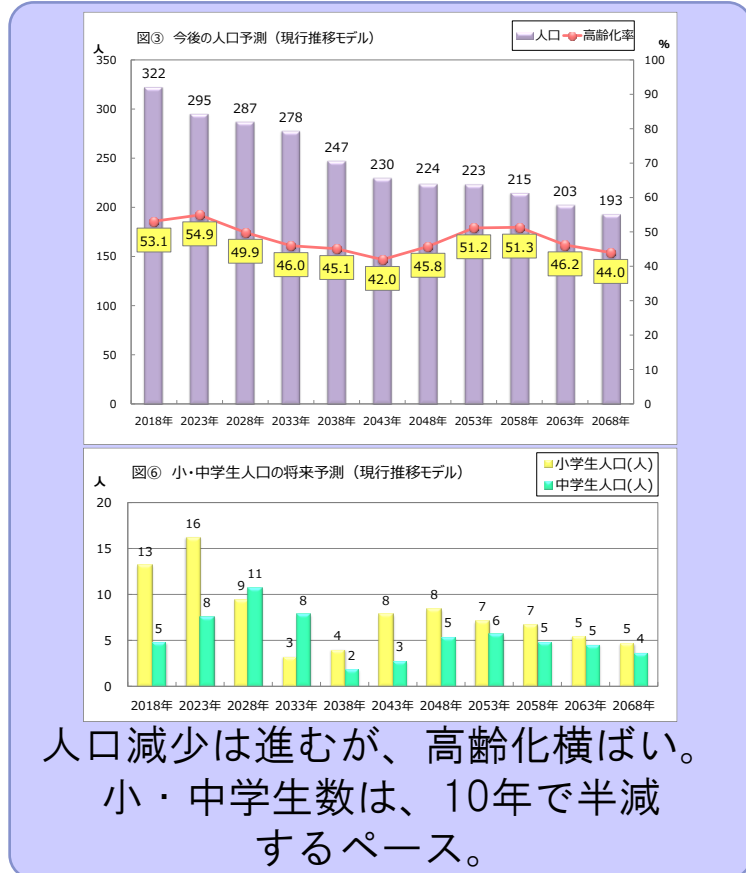
- ・人口：295人 (322人)
- ・世帯：147世帯 (152世帯)
- ・高齢化率：54.9% (53.1%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状



今後何もしないでいると



人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

人口安定化シミュレーション

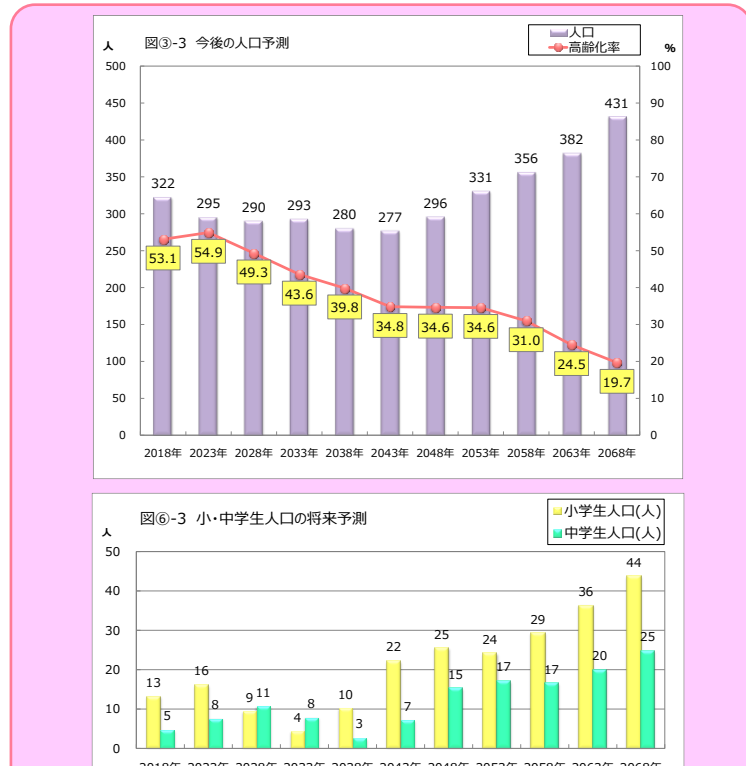
➔

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在0.86)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男40%⇒20%、女33%⇒17%とする。
- 定住増加目標：必要なし

➔

左記の条件で推計すると

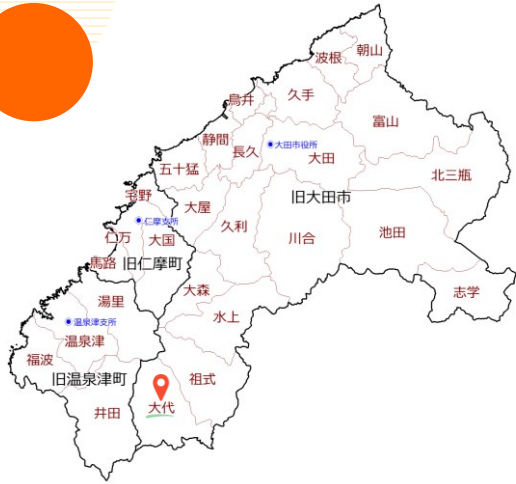
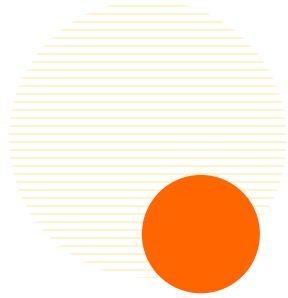


人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

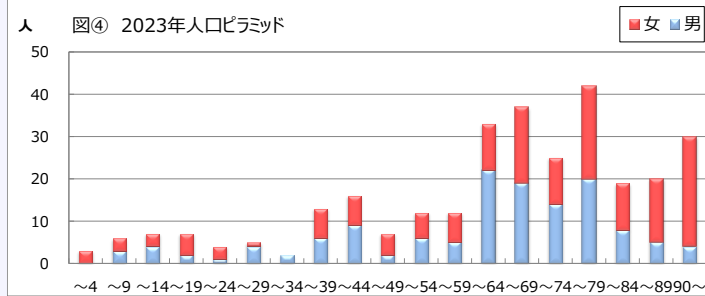
大 代 地 区



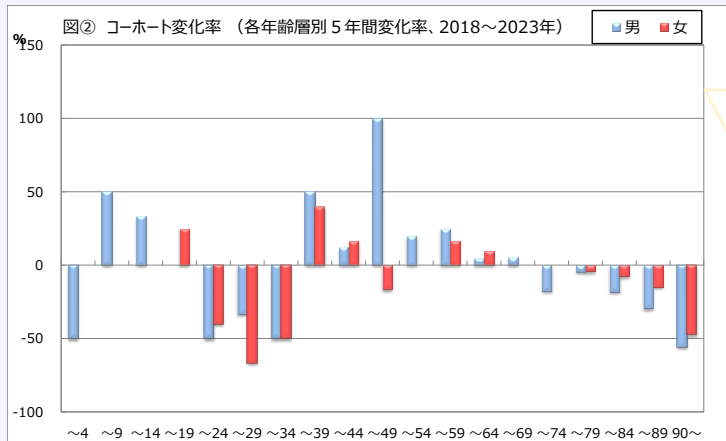
- ・ 人 口 : 300人 (349人)
- ・ 世 帯 : 165世帯 (184世帯)
- ・ 高 齢 化 率 : 57.7% (55.3%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

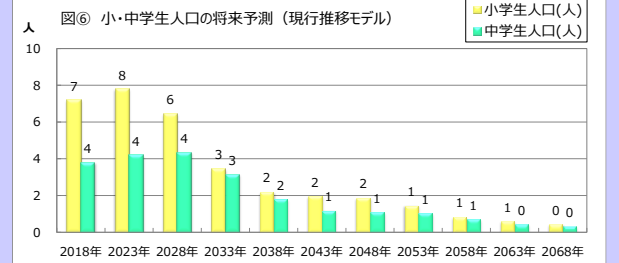
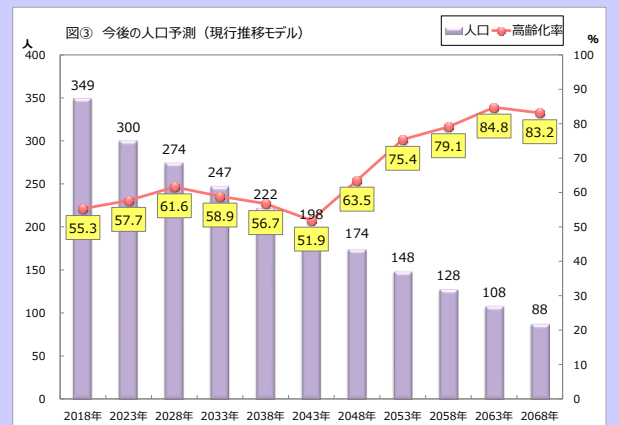


主力世代は、60代、70代後半。
この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代の流出超過に対して40代の流入が見られているが、女性を十分に取り戻せていない。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、10年で半減するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

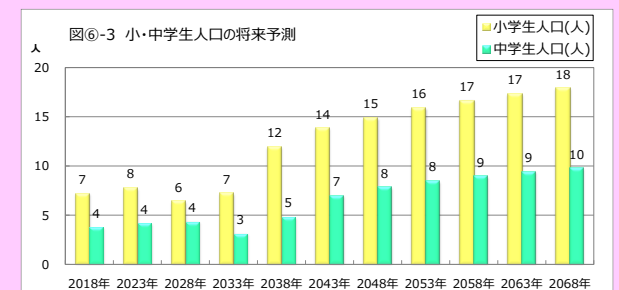
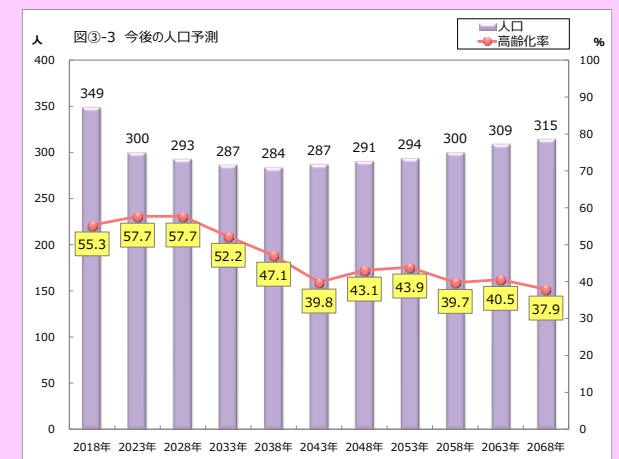
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出 生 率 : 2.29に段階的に向上(現在1.09)
- 流 出 率 : 10代後半~20代前半の流出率は男50%⇒25%、女40%⇒20%とする。
- 定住増加目標 : 現在人口の0.9%(111人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 0.4組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 0.4組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 0.4組
- 合計 1組 3人

左記の条件で推計すると



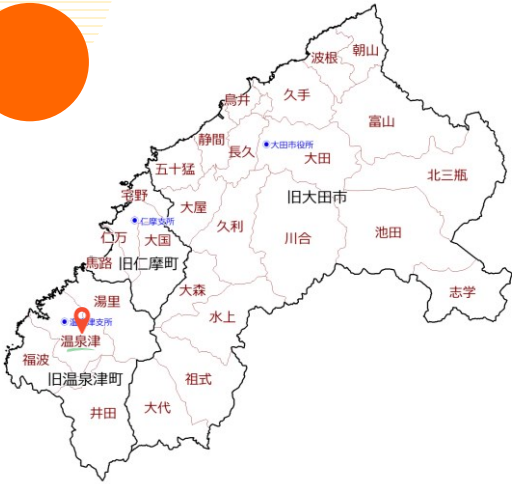
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

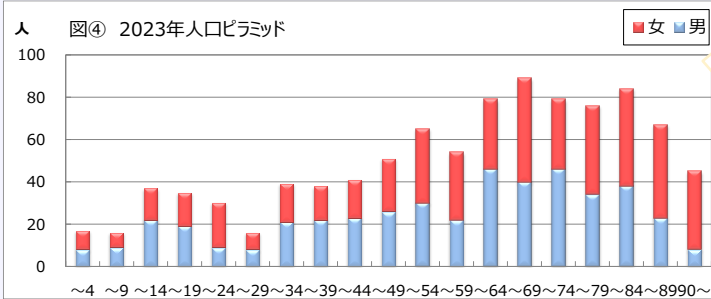
温泉津地区



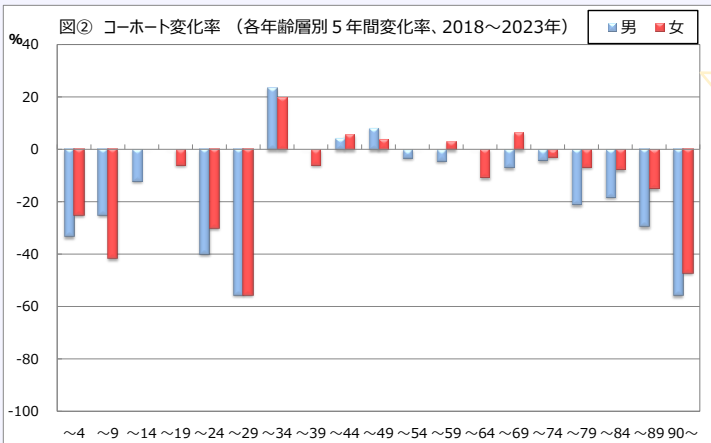
- 人口：958人 (1,119人)
- 世帯：490世帯 (539世帯)
- 高齢化率：45.9% (43.6%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

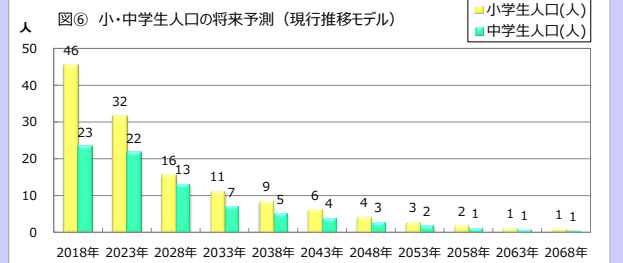
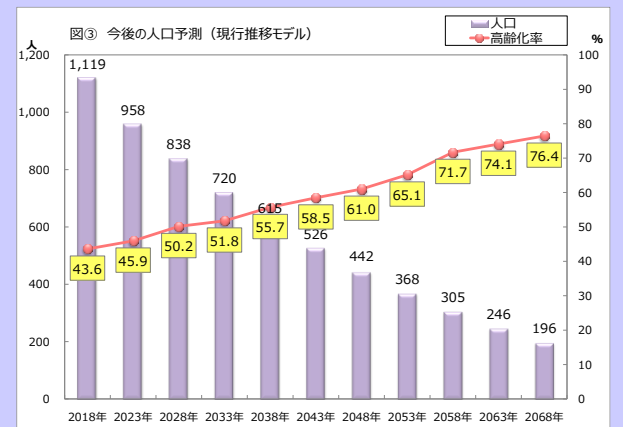


主力世代は、60代～70代。
この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



20代の流出超過をその後十分に取戻せていない。

今後何もしないと...



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、5年で半減するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

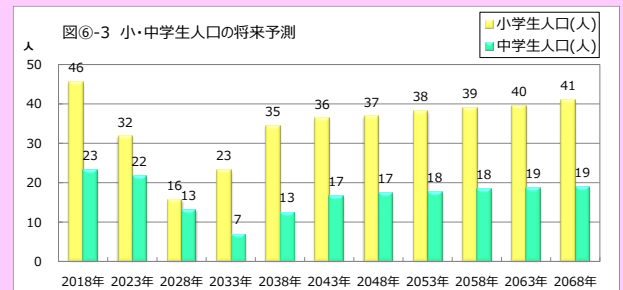
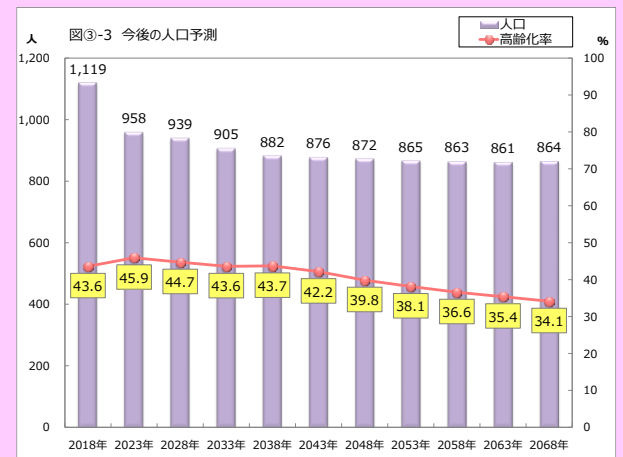
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.08)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男40%⇒20%、女30%⇒15%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.6%(63人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 2.2組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 2.2組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 2.2組
- 合計 7組 15人

左記の条件で推計すると...



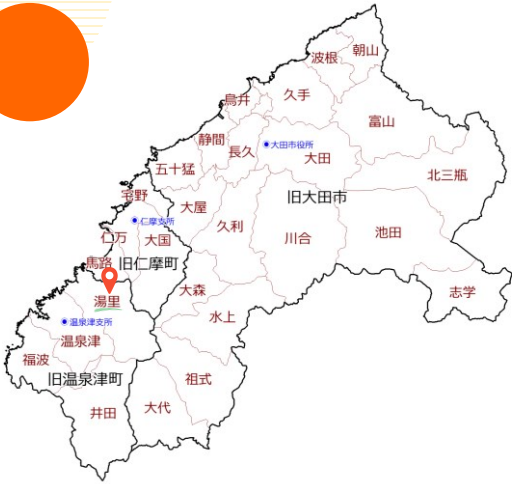
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

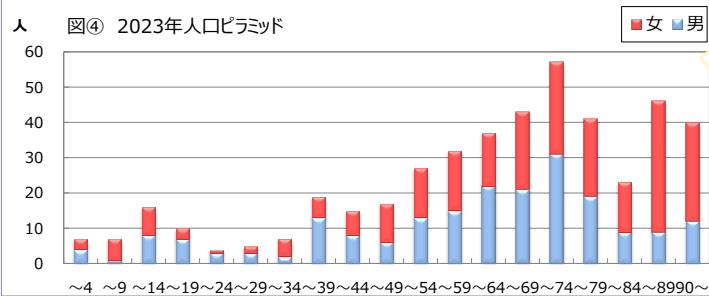
湯里地区



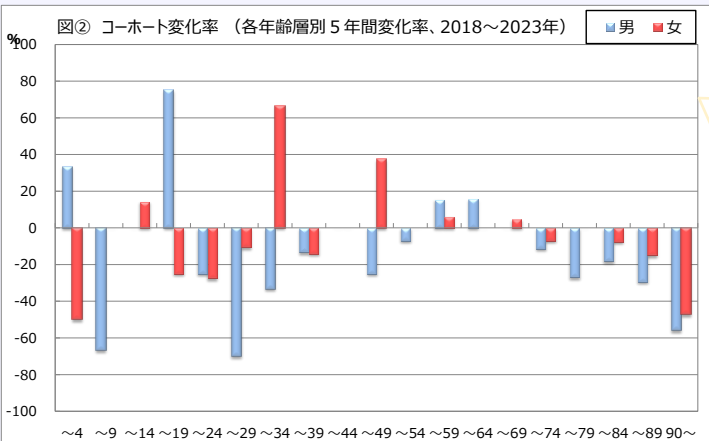
- ・人口：453人 (532人)
- ・世帯：246世帯 (274世帯)
- ・高齢化率：55.2% (52.4%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

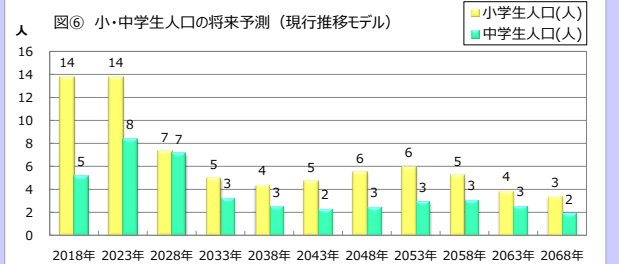
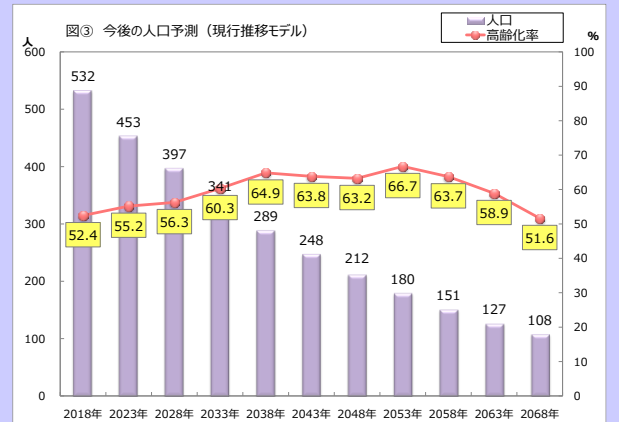


主力世代は、70代前半。
この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半~20代の流出超過が見られるが、30代女性を始めとした子育て世帯の流入が見られている。

今後何もしないでいると...



人口減少・高齢化が進行。
小・中学生数は、5年で半減するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

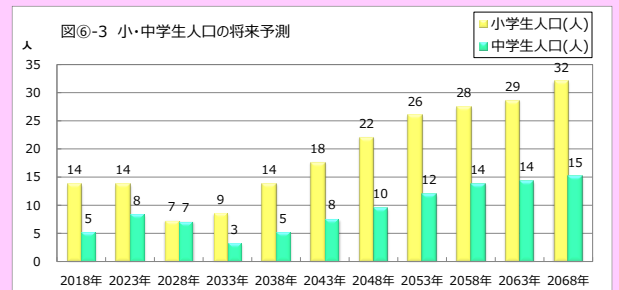
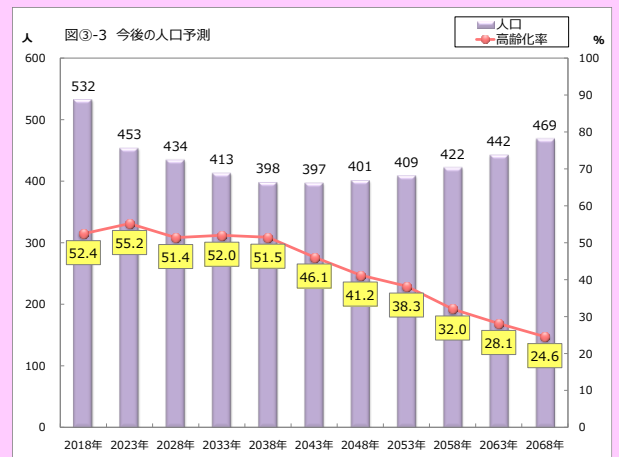
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在2.00)
- 流出率：10代後半~20代前半の流出率は男25%⇒13%、女28%⇒14%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.4%(71人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 0.9組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 0.9組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 0.9組
- 合計 3組 6人

左記の条件で推計すると...



人口の安定化達成へ！

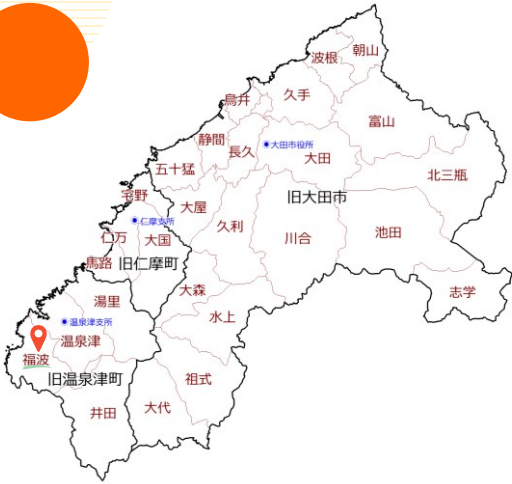
※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口



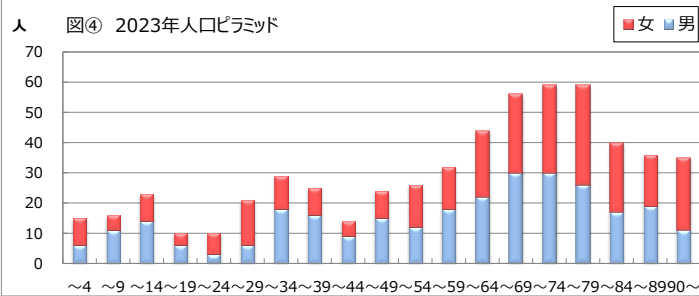
福波地区



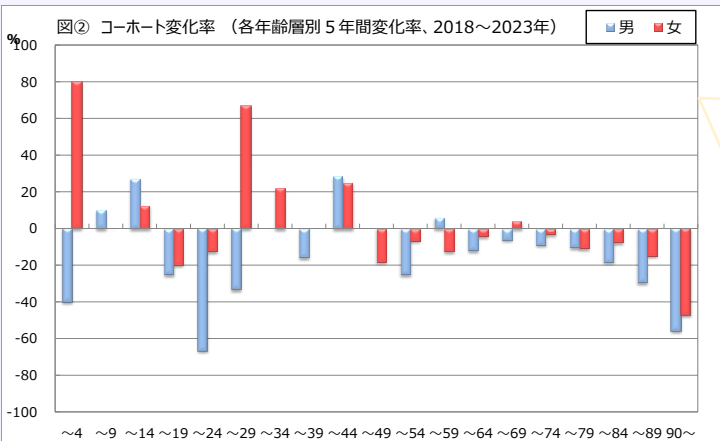
- ・人口：574人 (646人)
- ・世帯：314世帯 (338世帯)
- ・高齢化率：49.7% (46.9%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

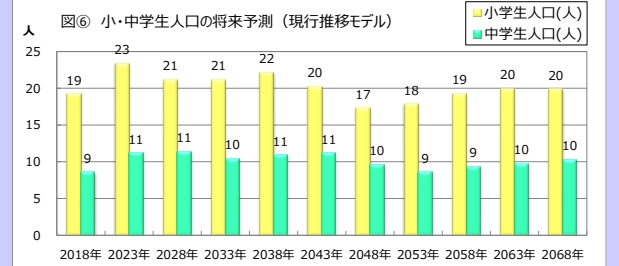
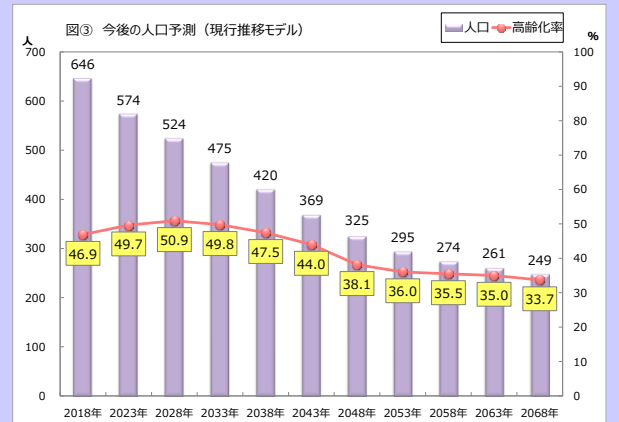


主力世代は、60代後半～70代前半
この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半～20代の流出超過がみられるものの、20代後半女性と子供の大規模な流入が見られている。

今後何もしないでいると...



人口は減少するが高齢化は落ち着く見込み。
小・中学生数はほぼ横ばい。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

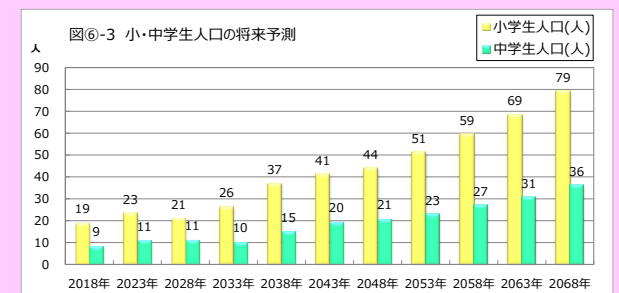
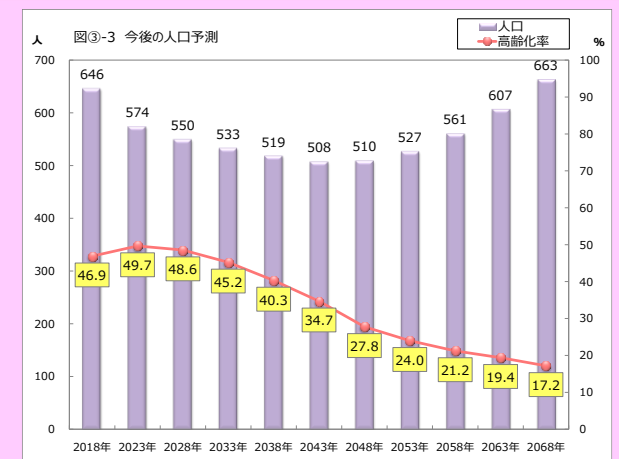
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.43)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男67%⇒33%、女13%⇒6%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の0.6%(167人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) ☺☺ 0.5組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 0.5組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 0.5組
- 合計 2組 4人

左記の条件で推計すると...



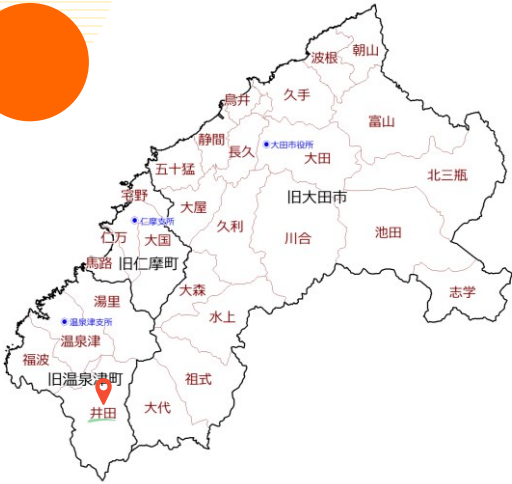
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

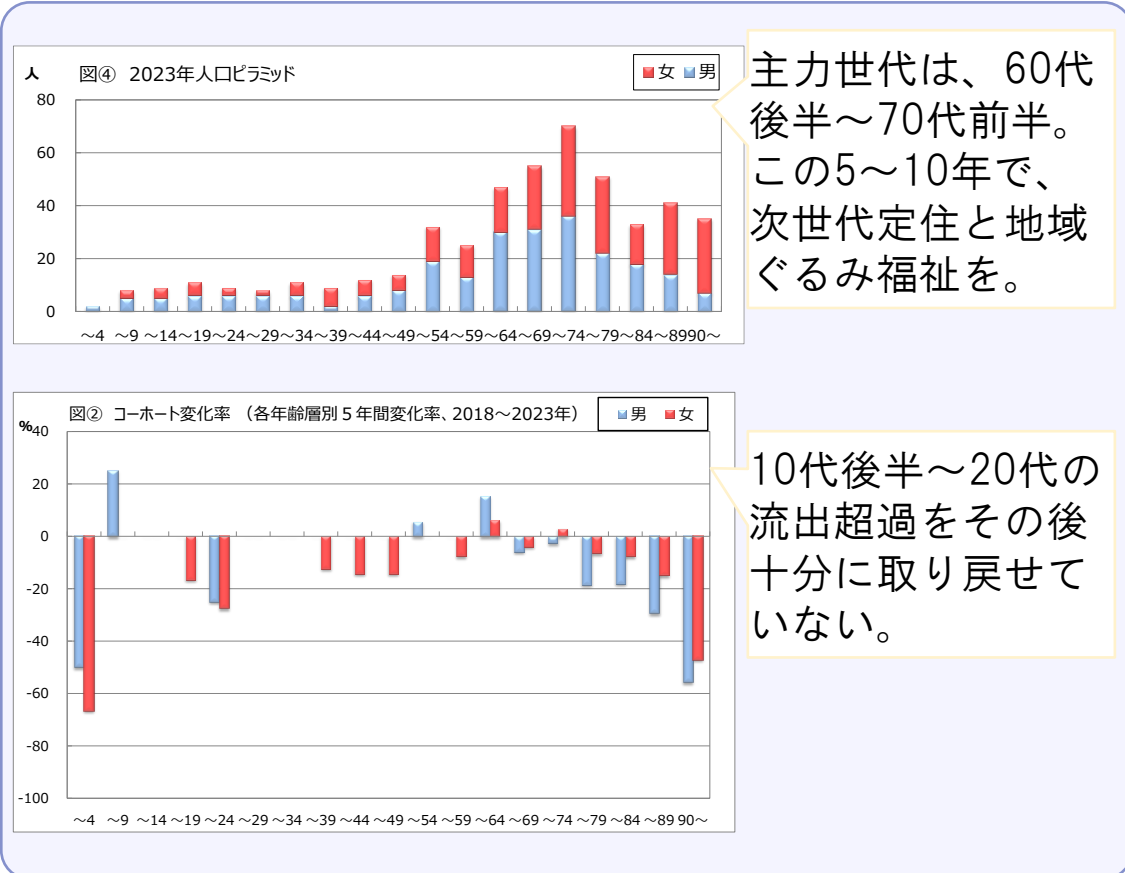
井田地区



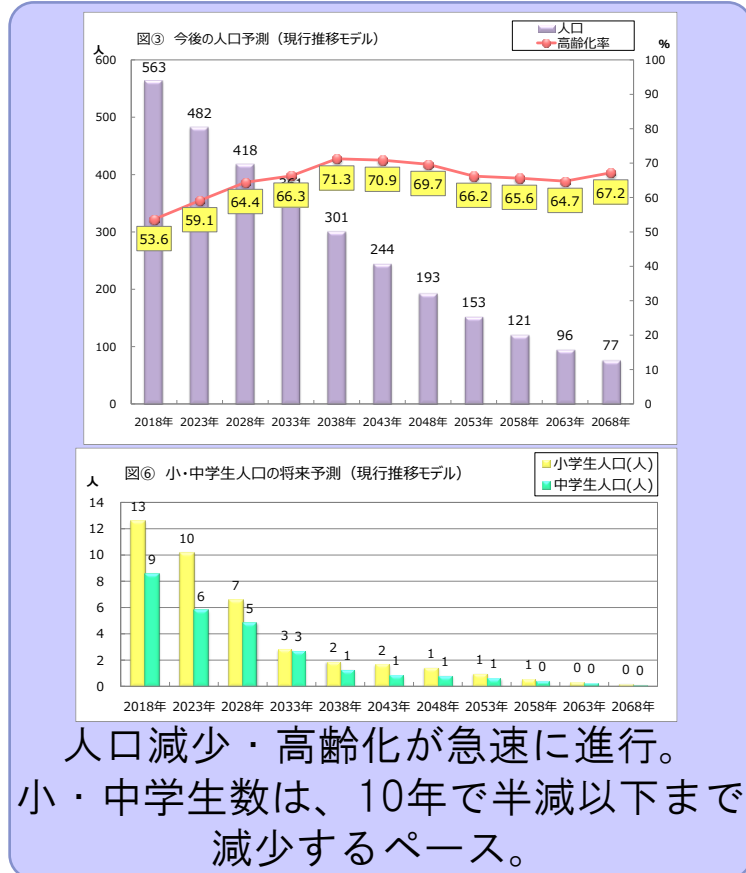
- ・人口：482人 (563人)
- ・世帯：248世帯 (273世帯)
- ・高齢化率：59.1% (53.6%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状



今後何もしないでいると



人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

人口安定化シミュレーション

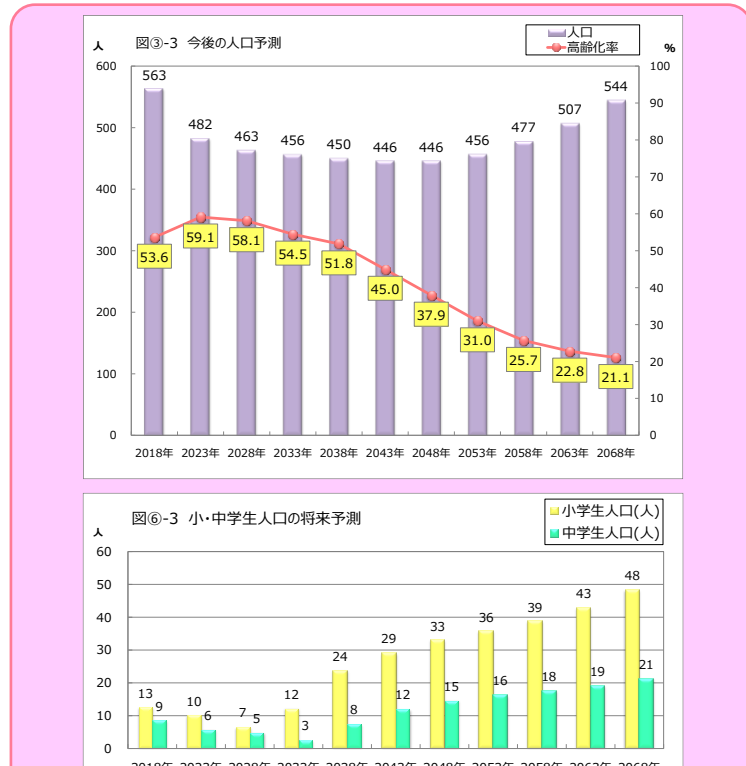
【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在0.47)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男25%⇒13%、女28%⇒14%とする。
- 定住増加目標：現在人口の1.5%(67人に1人)

20代前半男女1組(2名) 1.0組
30代子連れ夫婦1組(3名) 1.0組
60代定年帰郷夫婦1組(2名) 1.0組

合計 3組 7人

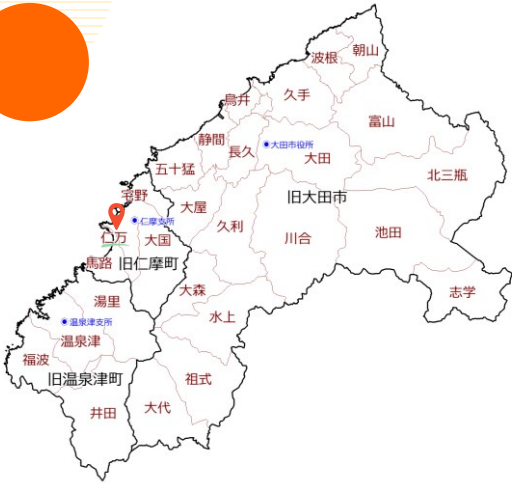
左記の条件で推計すると



※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

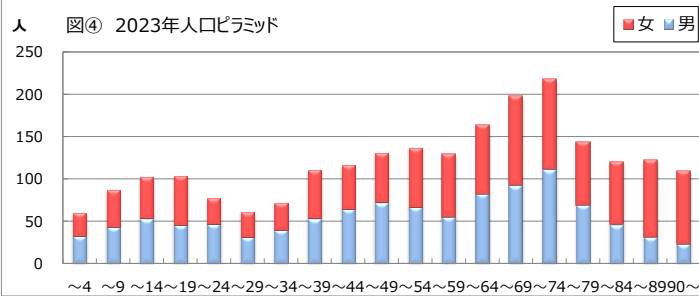
仁万地区



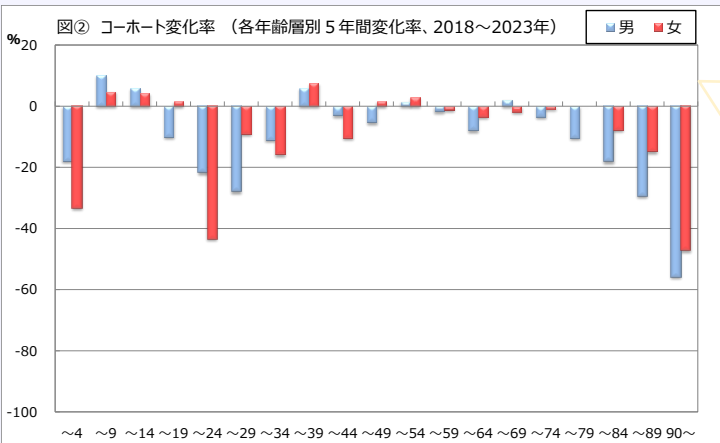
- ・人口：2,261人 (2,475人)
- ・世帯：1,066世帯 (1,099世帯)
- ・高齢化率：40.3% (37.1%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

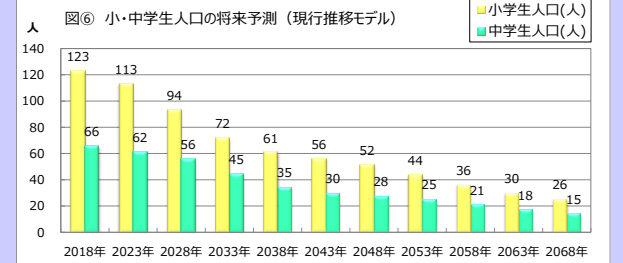
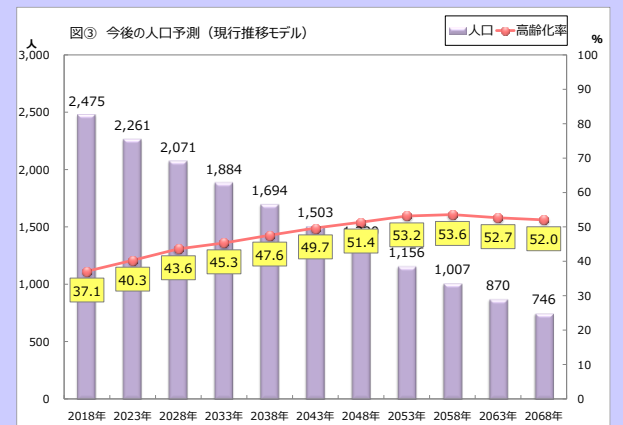


主力世代は、60代後半～70代前半
この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半～20代の流出超過をその後十分に取戻せていない。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。
小・中学生数は、15年で半減近くまで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

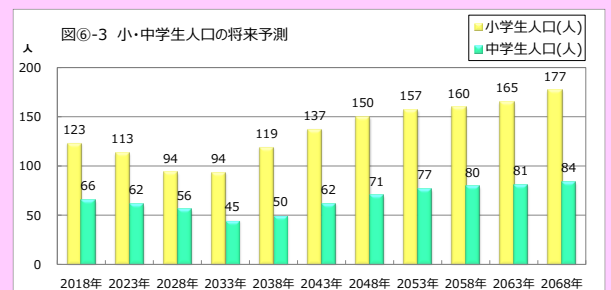
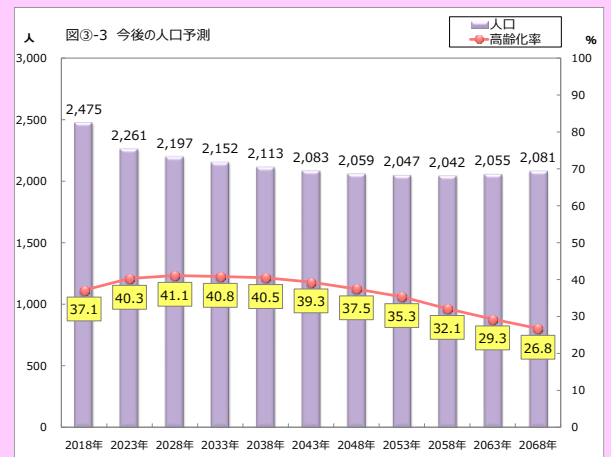
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在1.61)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男22%⇒11%、女43%⇒22%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の0.8%(125人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 2.5組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 2.5組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 2.5組
- 合計 8組 18人

左記の条件で推計すると



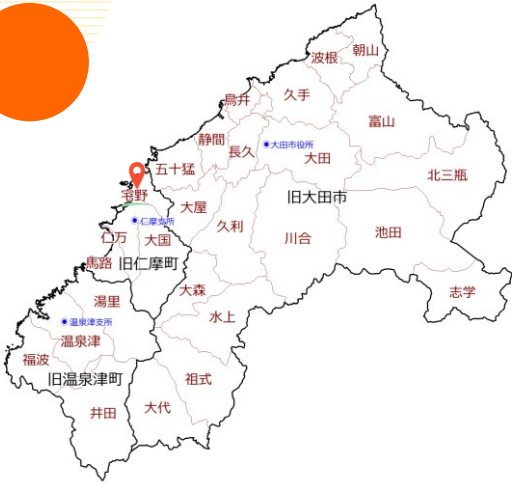
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

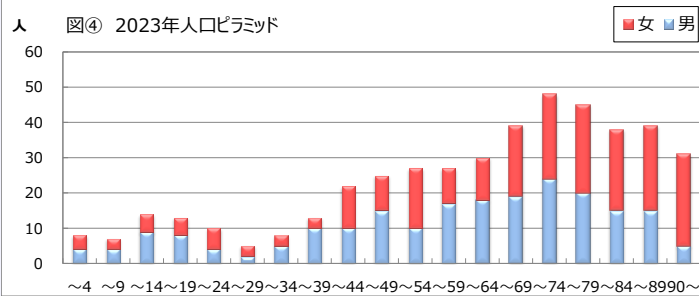
宅野地区



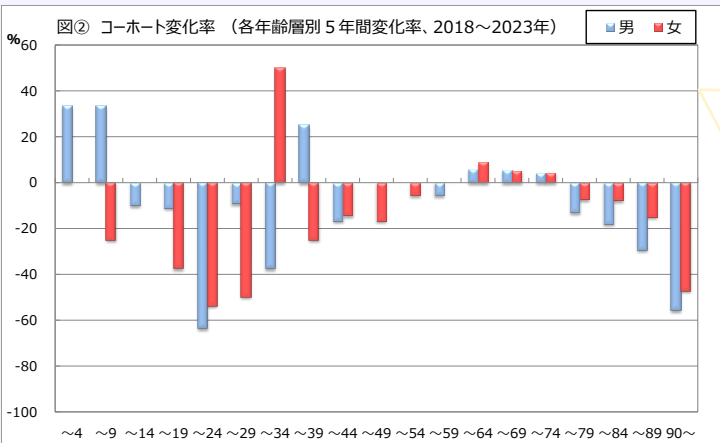
- ・人口：449人 (529人)
- ・世帯：220世帯 (235世帯)
- ・高齢化率：53.5% (48.4%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

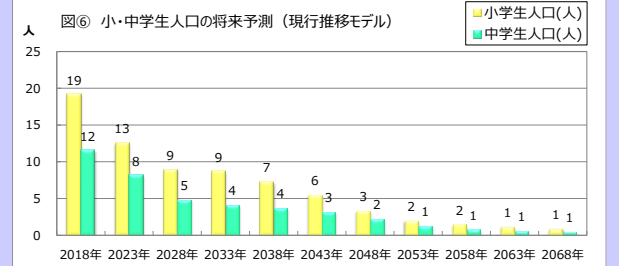
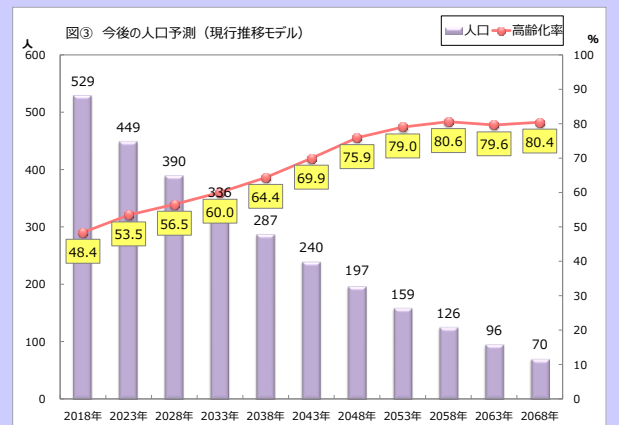


主力世代は、70代。この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半～20代の流出が目立つが、その一方で、30代前半女性が流入している。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。小・中学生数は、20年で半減するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。

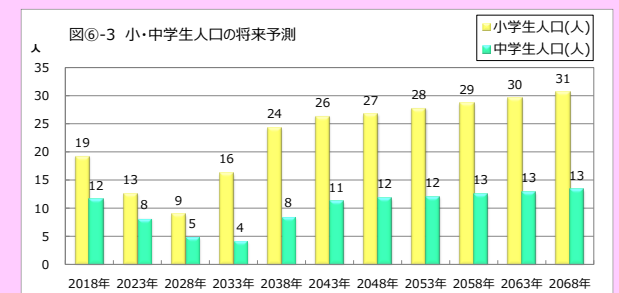
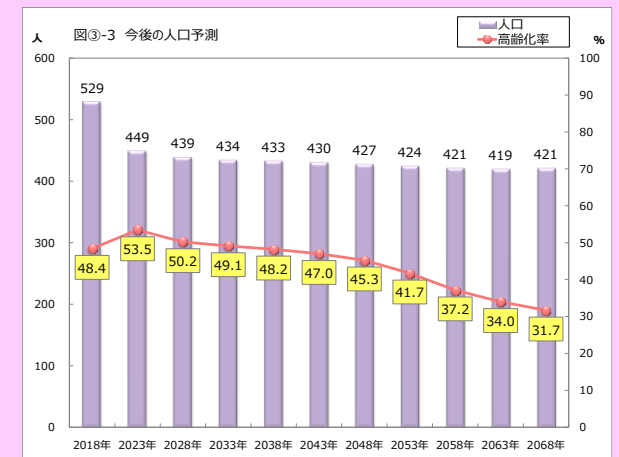
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在2.13)
- 流出率：10代後半～20代前半の流出率は男64%⇒32%、女54%⇒27%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.7%(59人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 1.1組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 1.1組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 1.1組
- 合計 3組 8人

左記の条件で推計すると



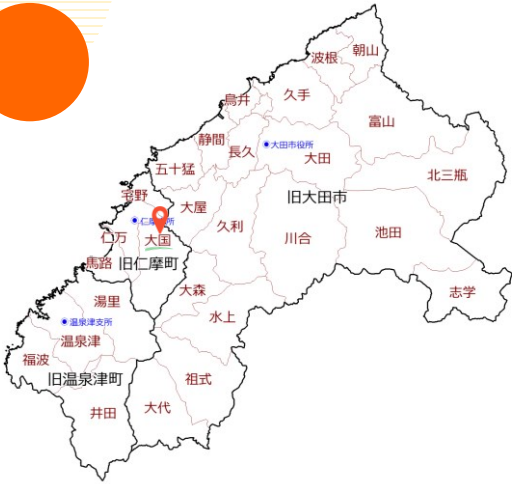
人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション

大田市27地区別人口

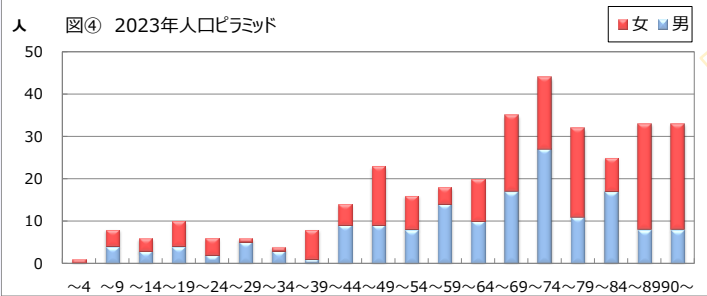
大 国 地 区



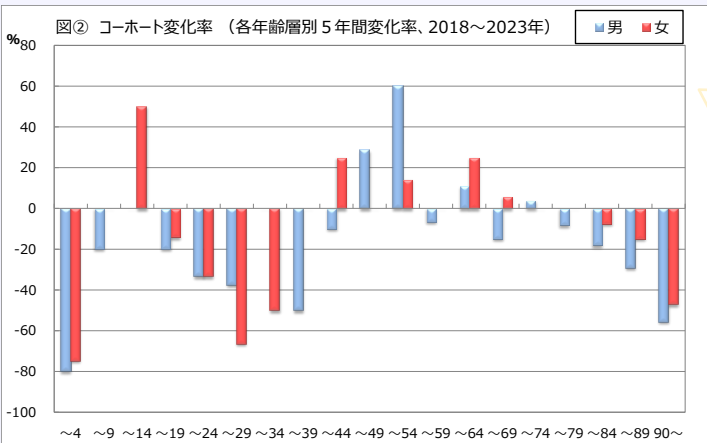
- ・ 人 口 : 342人 (381人)
- ・ 世 帯 : 183世帯 (187世帯)
- ・ 高 齢 化 率 : 59.1% (52.8%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

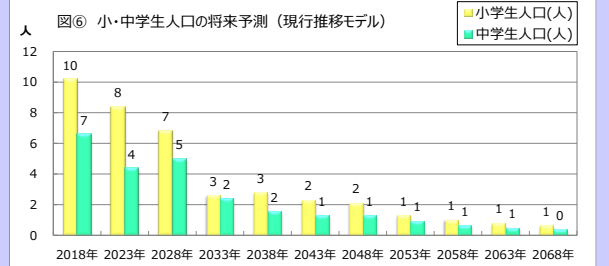
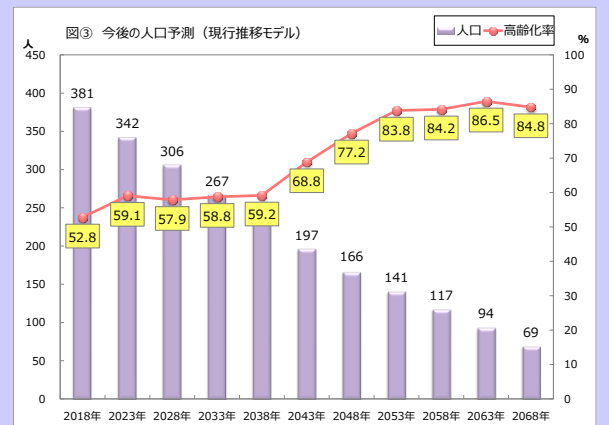


主力世代は、60代後半～70代前半。この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半～20代の流出超過が見られるが、その後子育て世帯の流入が見られる。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が急速に進行。小・中学生数は、10年で半減以下まで減少するペース。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

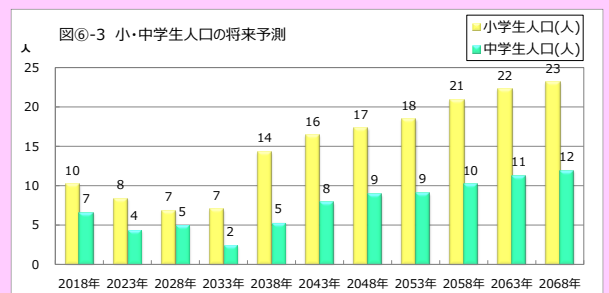
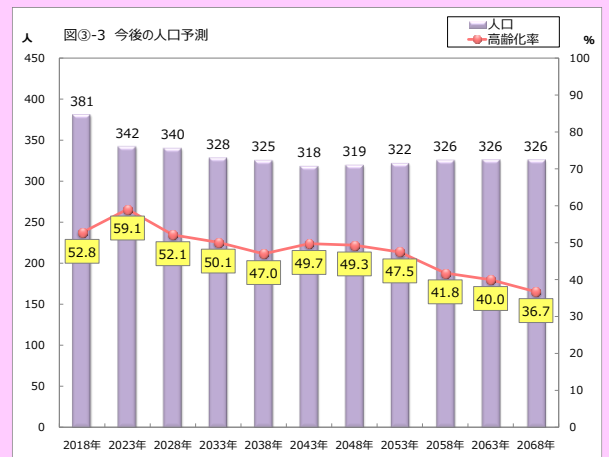
一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率: 2.29に段階的に向上 (現在1.23)
- 流出率: 10代後半～20代前半の流出率は男20%⇒10%、女42%⇒21%とする。
- 定住増加目標: 現在人口の1.6% (63人に1人)

- 20代前半男女1組 (2名) 0.8組
 - 30代子連れ夫婦1組 (3名) 0.8組
 - 60代定年帰郷夫婦1組 (2名) 0.8組
- 合計 2組 6人

左記の条件で推計すると



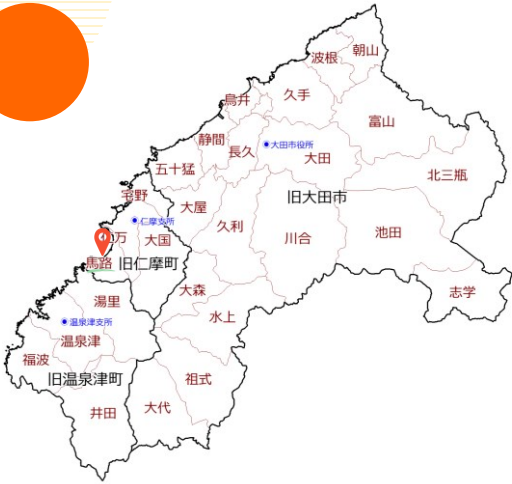
人口の安定化達成へ！

人口安定化シミュレーション

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

大田市27地区別人口

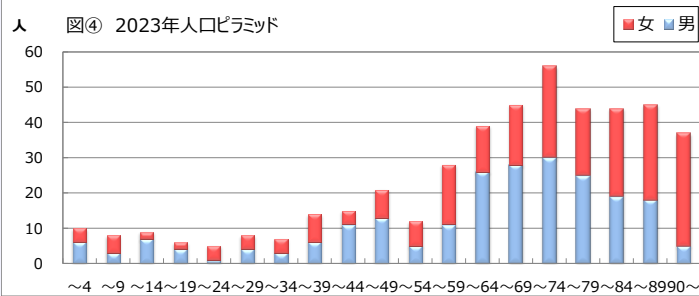
馬路地区



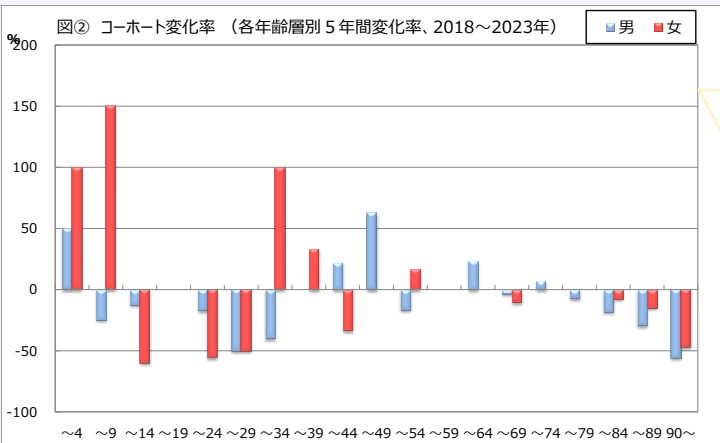
- ・人口：453人 (510人)
- ・世帯：269世帯 (277世帯)
- ・高齢化率：59.8% (55.7%)

※2023年4月30日現在
※()内は5年前の数値

地区の現状

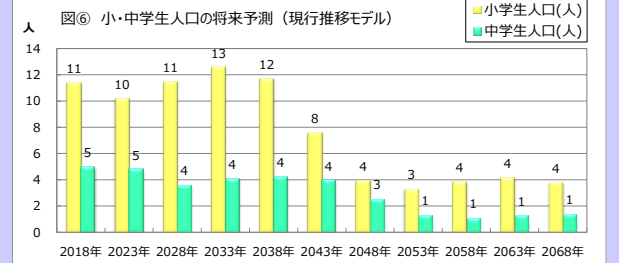
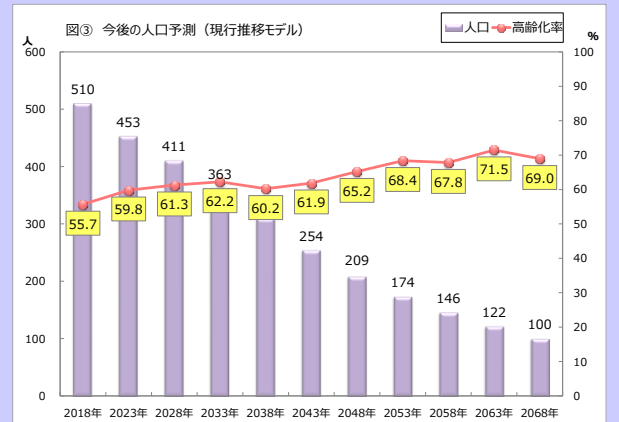


主力世代は、70代前半。
この5~10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。



10代後半~20代の流出超過が見られるが、その後子育て世帯の流入が見られる。

今後何もしないでいると



人口減少・高齢化が進行。
小・中学生数は、しばらくは横ばいで推移。

人口を安定化させるために必要な移住定住の組数

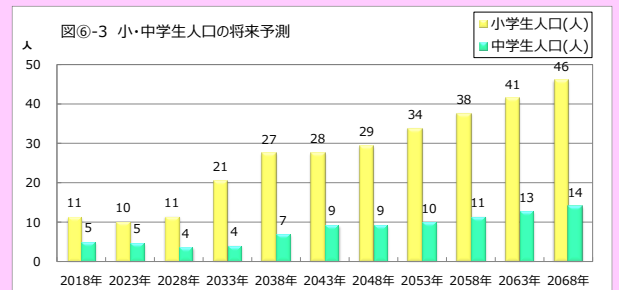
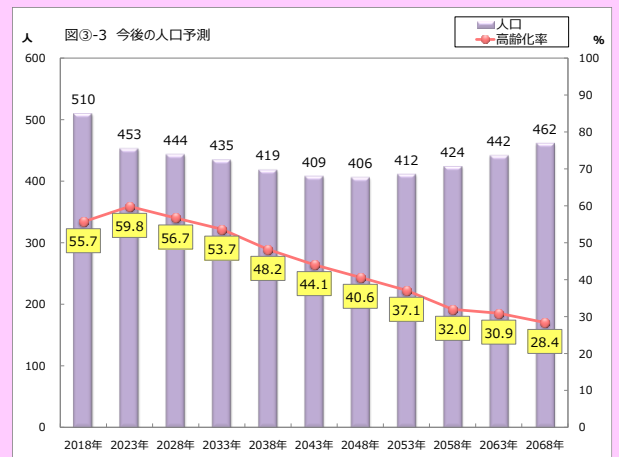
一体どの程度の流入があれば地域の人口は維持できるのかについてシミュレーションしてみましょう。
出生率の向上と流出率の抑制、人口の流入があることで、人口は以下のように安定する予測となっています。

【組み合わせ安定化シナリオ】

- 出生率：2.29に段階的に向上(現在2.00)
- 流出率：10代後半~20代前半の流出率は男17%⇒9%、女56%⇒28%とする。
- 定住増加目標：
現在人口の1.2%(83人に1人)

- 20代前半男女1組(2名) 0.8組
 - 30代子連れ夫婦1組(3名) 0.8組
 - 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 0.8組
- 合計 2組 6人

左記の条件で推計すると



人口の安定化達成へ！

※流入については、現在流出している若年層の流出が緩和されることで達成するという考え方もできます。

人口安定化シミュレーション